

年報

平成27年度

徳島県立図書館

ま え が き

平成27年は、徳島県立図書館が文化の森に移転してから新築開館25周年を迎え、平成29年度には県立図書館が開館して100周年を迎えることとなります。

少子・高齢化が進み、人々の価値観が多種多様化する中、県立図書館は県下の中核図書館として、各分野の図書を広く収集し、県民の皆様のさまざまな要望と調査・研究に応じられるように取り組んでいます。

昨年度は、県内での図書館におけるビジネス支援活動の普及を目指して、市町村立図書館職員研修等を実施するとともに、ハードルが高いと思われていたビジネス支援へも取り組むなど、新しい機運も感じる事が出来ました。

その時に合わせた催しとして、四国遍路開創1200年や中村教授のノーベル賞受賞を記念したもの、県内企業の社史の展示など、その時々話題や関心にあわせたミニ展示を閲覧コーナーで行うとともに、所蔵資料の紹介などを実施してまいりました。

また、さまざまな分野で活躍されている徳島ゆかりの方々の心に残った本をご紹介します。いただく「とくしま 私のこの一冊」展は、各方面の方のご協力を賜りながら、現在、総集編の展示を行っています。

さらに、図書館業務の見直しと課題を可視化することに取り組んだ富士通株式会社の「フィールド・イノベーション」活動を進め、その一環として、セカンドライフ応援コーナーの設置などを行い、県民の皆様へのより充実したサービスにつなげることができたと考えております。

今年度もこれらの活動を引き続き行いつつ、徳島県の図書館ネットワークの中核として、県全体の図書館サービスの向上に努めて参りたいと考えておりますので、本冊子をご一読いただき、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

徳島県立図書館長 楨納 正明

目 次

I	運営の基本方針	1
	平成27年度重点事業	1
II	平成27年度事業計画	2
	平成27年度図書館予算（当初）の状況	7
	徳島県立図書館資料収集方針	8
	徳島県立図書館資料収集・選定運用基準	10
III	平成26年度事業報告	14
	1 情報支援課関係	14
	2 調査相談課関係	15
	3 資料課関係	17
	4 図書館システム関係業務	19
	5 他機関との連携事業ほか	19
	6 諸統計	24
IV	管理	26
	1 組織機構・職員	26
	2 施設・設備	27
	3 沿革	28
	4 歴代館長	29
V	平成26年度行事記録	30
	データで見る徳島県立図書館の現状	37
	徳島県内市町村立図書館一覧	38
	徳島県立図書館案内図	39
	開館時間・休館日	39
	付録：「徳島県立図書館サービス向上目標（第2期） ～県立図書館サービスの次の展開に向けて～」	1～4

I 運営の基本方針

- (1) 図書館法とユネスコ公共図書館宣言の理念に基づいて、図書・記録その他の図書館資料を積極的に収集・整理・保存して、地域社会の人々に対する利用に努める。
また、行政資料を含む郷土資料を積極的に収集保存し、県内における資料センターとしての役割を果たす。
- (2) 市町村立図書館への援助・協力を行い、市町村立図書館と協力してすべての県民への図書館サービスの充実を目指す。
また、図書館未設置町に対して、図書館の設置を促進し、県内図書館網を充実する。
- (3) 県民の読書活動及び図書館利用を促進し、文化の向上に資する。
また、すべての子どもの自主的な読書活動を推進するために、関係機関や団体と連携し、資料の充実と子どもの読書環境の向上に努める。
- (4) 公共図書館、大学図書館、学校図書館、試験・研究機関との連携を行い、県民へ資料、情報を提供し、サービスに努める。
- (5) 県民の学習、調査、研究、レクリエーションセンター、生涯学習の場として、県下の図書館網の中核施設として位置づける。
- (6) 阿波学会等地域の学術研究団体と連携し、地域に関する科学的調査に協力し、学問と文化の振興に寄与する。

平成 27 年度重点事業

徳島県立図書館サービスの充実

徳島県の図書館ネットワークの中核として、広域的かつ総合的な視点で、県民の様々なニーズや課題に的確に対応し、県全体の図書館サービスの向上を図る。

- ア 「とくしまネットワーク図書館」の整備充実、市町村立図書館支援、子どもの読書支援、大学図書館、県外図書館との連携拠点として県内全域サービスをすすめる。
- イ 県下の中核図書館としての機能・役割を発揮するための図書館資料の充実整備に努め、将来の利用を見据えた蔵書の収集・整備を図る。
 - ・子どもの本の資料センター機能の充実
 - ・読書バリアフリーに必要な、デージー・大活字本等の充実
 - ・地域振興や起業、就労に役立つ資料の充実等により、乳幼児から高齢者までライフステージに応じた生涯学習を支援する。
- ウ 徳島に関する幅広い資料の収集・充実を図り、地域資料のデジタル化、郷土レファレンスのデータベースや可能な資料の、Web上での公開に努める。また、郷土資料を後年まで伝えるため、資料保存センターとしての機能を充実させる。
- エ 子育て支援、行政支援、仕事応援、健康情報、防災・減災情報等、県民のさまざまなニーズや課題解決の支援に取り組む。また、ホームページやテーマ展示等により情報を発信する。

Ⅱ 平成27年度事業計画

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
情報 支援 課 （ 情報 支 援 担 当 ）	徳島県立図書館協議会	館長の諮問機関として、県立図書館運営の基本的事項を審議する。	協議会委員	年 1 回	諮問事項の審議等。
	徳島県公共図書館協議会	県内公共図書館の連絡協調を図る。	県内公共図書館	理事会 5月中旬、 研修会 年3～4回	活動状況の意見交換や相互協力について検討する。職員の研修会、図書館大会を開催する。
	徳島県読書振興協議会	県内読書推進機関の連携協力を図る。	市町村読書振興協議会 他	年 間	読書振興大会を開催するための援助等を行う。
	協力車の運行	県内図書館間協力のため、協力車等により資料の貸出、県内図書館間の相互貸借等を行う。	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会	毎 週	市町村立図書館・図書館未設置町教育委員会からの貸出希望に応じる。
	相談業務	図書館や類似施設等に、相談・助言を行う	県内公共図書館等	年 間	図書館業務全般の情報交換等を行う。
	団体貸出	職場の団体やグループ・学校・施設などに対して、資料を一括して貸し出す。	職場・団体・学校等	年 間	来館して直接選択してもらい、一括貸し出しをする。
	読書会文庫	市町村立図書館、読書グループに、同じ資料を1セット5～10冊編成で貸し出す。	図書館、読書グループ	年 間	貸出期間2ヶ月。図書館を通しての貸し出しも行う。
	町立図書館の設置促進	すべての町に図書館が設置されるよう推進する。	図書館未設置町	年 間	自治体の理事者・教育委員会に対して、その重要性を呼びかける。
	学校図書館への協力貸出	学校図書館からの貸出希望に応じて資料の貸出を行う。学校における図書館活動の活性化に協力する。	県内高等学校及び特別支援学校	年 間	希望校が、最寄りの市町村図書館で資料を受け取れるよう、県立図書館から協力車で運ぶ。
	総合学術調査	阿波学会の協力を得て各々の専門家が地域を定めて科学調査及び研究を行い、文化の推進と地域開発に寄与する。	鳴門市	8月 調査	16学会約100名の専門家によって、それぞれの分野で集中的に調査を行う。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
調査 相談 談 課 （ 調 査 担 当 ）	逐次刊行物の選択・収集・整理	最新の知識情報が得られる定期・不定期刊行物（新聞・雑誌、年鑑、年刊、統計書、白書、政府刊行物、官報等）を選択・収集し、整理する。	一 般	年 間	逐次刊行物は継続的に収集し、保存のため年次別に整備する。
	寄贈逐次刊行物の整理	官公庁、団体等から寄贈された逐次刊行物を整理する。	一 般	年 間	雑誌類は整理保存する。
	逐次刊行物の閲覧と貸出	購入・寄贈雑誌の閲覧と貸し出しや一部CD-ROMによる閲覧により、利用者の要求に応じる。	一 般	年 間	一部を除き貸し出しを行う。
	複写サービス	著作権法にのっとり、複写サービスの適正な運用につとめる。	一 般	年 間	館内利用者及び県外からの文書による申し込みに応じる。
	雑誌スポンサー制度	雑誌スポンサーを募集し、ブラウジングコーナーの充実をはかる。	企業・商店・団体	随時受付	スポンサーに雑誌の購入費を負担してもらい、最新号カバー等にスポンサー名を表示する。
	参考図書の収集と整理	各分野の調査・相談に必要な参考図書を収集・整理する。	一 般 図 書 館	年 間	出版情報により、情報を集め、資料を収集する。
	特別集書の収集と貸出	「橋と川」に関する資料を収集し貸出する。	一 般 図 書 館	年 間	「橋と川」に関する資料を収集する。
	データベースの提供	DVD-ROM版、Web版のデータベースを専用端末により提供する。	一 般	年 間	契約上可能なものはプリントアウトに応じる。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	総合目録ネットワークと相互貸借	国会図書館、全国の公共図書館とのネットワークに参加する。相互貸借により利用者の資料要求に応える。	一 般 図 書 館	年 間	総合目録ネットワークシステムへ蔵書目録データを提供し、県内図書館向け研修会を開催する。県外図書館から資料を借り受け、利用者へ提供する。
レファレンスツールの作成	レファレンスの事例をデータベース化し、検索ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンスの回答記録から選定したものなどをデータ入力する。また、公開にも努める。	

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
(調査担当)	検索コーナーの管理・運営	利用者の端末使用を援助する。	一 般	年 間	利用者用検索端末・DVD-ROM閲覧端末等の使用を援助する。
	インターネット端末の一般開放	調査研究や知的創造などに欠かせない電子文献の収集を援助・促進する。	一 般	年 間	インターネットが閲覧できる端末を設置し、Web情報の利用に供する。
調 査 相 談 課 (郷 土 担 当)	郷土資料の充実と整理	郷土に関する資料要求に応えるため、郷土に関する資料の収集・整理に努める。	一 般	年 間	特色のあるコレクションとして一般蔵書と区別して保存し、利用に供する。
	地方行政資料の収集と整理	国、県、市町村への働きかけを強めて、官公庁出版物と地方行政資料の収集整理に努める。Web版資料についても収集に努める。	一 般	年 間	県、市町村及び国の出先機関等に資料の提供を呼びかける。Web版資料の電磁的記録と利用に関する許諾を求める。
	調査相談活動	一般利用者、市町村立図書館等から寄せられる調査研究の質問に対して必要な資料や情報を提供する。	一 般 図 書 館 県 機 関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによるレファレンスに対し回答する。
	資料の複写	マイクロフィルム・デジタル化された新聞、郷土資料等の複写サービスを行う。	一 般	年 間	デジタルライブラリ画像閲覧システムやマイクロリーダープリンターによる複写を行う。
	資料のマイクロフィルム化・デジタル化	調査研究資料として増大する新聞情報を、マイクロフィルム化して整理保存する。	一 般	年 間	現在、収集保存している全国紙地方面を引き続きマイクロフィルム化し、利用に供する。また、貴重資料等のデジタル化に努める。
	図書の展示	テーマにそった郷土資料の展示を行い、関心を高め利用を促進する。	一 般	年 間	郷土資料の展示を行い、展示資料リストを作成する。
	郷土用レファレンスツールの作成	郷土の事項や人物に関するレファレンス事例データベースを作成し、検索ツールとして役立てる。	一 般 図 書 館	年 間	レファレンス回答記録から選定したものなどをデータ入力する。また、公開にも努める。

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
資料 課 （ 資 料 担 当 ）	資料の収集と整理	一般貸出資料の選択・収集・整理及び参考図書の整理を図る。	一 般	年 間	出版情報により選書し、発注、受け入れを行う。
	資料の配架と保存	開架図書の利用を促進し、書庫内資料の出納を容易にする。	一 般	年 間	オープンスペースと書庫の資料を適正に配架する。
	予約（リクエスト）制度	利用者の希望する資料の予約を受け提供する。	一 般	年 間	来館・電話・インターネットで予約を受け処理する。
	視聴覚資料の収集と整理	CDの収集・整理を行う。	一 般	年 間	CDブックを収集し、貸し出しする。（音楽CDは寄贈のみ収集）
	障がい者及び高齢者用資料の収集	障がい者や高齢者のための資料を収集する。	障がい者 高 齢 者	年 間	大活字本やDAISYを収集・整理し、貸し出しを行う。また、携帯型拡大読書器、活字自動読み上げ機を設置している。
	対面朗読	目の不自由な方に、資料を朗読する。	目の不自由な方等	年 間	来館のうえ、対面朗読協力者が朗読する。
	郵送貸出	障がいのため、来館が困難な利用者に、郵送による貸し出しを行う。	障がい者	年 間	電話、文書等で申し込みを受け付け、図書館資料を郵送する。
	督促	期限を過ぎても返却されない利用者に対して、督促通知を行い、資料の効率的運用を図る。	一 般	年 間	郵便と電話により、通知を行う。
	ベストセラー寄贈事業	予約者が多いベストセラー本の寄贈をお願いし、予約待ち期間の短縮を図る。	一 般	年 間	図書館ホームページや館内にリストを掲示し、寄贈していただく。
貸出、利用者登録	資料の貸し出しと貸出利用者を登録する。	一 般	年 間	貸し出しは、県内在住者、在勤者、在学者に対して10冊22日間。	

区分	事業名	趣 旨	対 象	時 期	方 法 (内 容)
資料 課 (児 童 担 当)	資料の収集と整理	児童書、子どもの読書に関する研究書、紙芝居、お話CDなどを収集整理する。	0歳～高校生、一般	年 間	出版情報により選書し、発注、受け入れ、保存を行う
	予約（リクエスト）制度	利用者の希望する資料の予約を受け提供する。	0歳～高校生、一般	年 間	来館、電話、インターネットで予約を受け処理する。
	調査相談活動	子ども、保護者、子どもの読書関係者（機関）、市町村立図書館等からの質問に対して必要な資料や情報を提供する。	0歳～高校生、一般、図書館、関係機関	年 間	電話・口頭・文書・FAX・電子メールによる質問に応じる。
	学校図書館との連携推進	学校図書館担当職員の相談・要望に応えることにより、学校図書館との連携を進める。	特別支援学校図書館 他	年 間	要望のある県立学校図書館を訪問して説明や相談に応じる。
	子どもの読書に関する研修会	公共図書館職員、読み聞かせボランティア、子どもの読書活動推進関係者などが、子どもの読書のすすめ方について研修を行う機会を提供する。	子どもの読書活動推進関係者、図書館	年 間	研修会を開催する。
	おはなし会	絵本の読み聞かせなどによって、乳幼児・児童に読書の楽しさを味わってもらう。	乳 幼 児 児 童	月 3 回	絵本の読み聞かせ、紙芝居、ストーリーテリングなどを行う。（月2回はボランティアによる）
	こどもの本コーナーだよりの発行	児童書、子どもの読書関連行事等を紹介すると共に、こどもの本コーナーの広報をする。	0歳～中学生、一般	月 1 回	ホームページ「こどもの本コーナー」にも掲載する。
	図書の展示	テーマにそった児童書の展示を行い、関心を高め、子どもの読書活動を推進する。	0歳～中学生、一般	年 間	それぞれの時期にテーマにそった図書を集めて展示する。
その他	コンピュータの管理運営	コンピュータ委員会を中心に、コンピュータに伴う各種作業を行う。		年 間	マーク登録、蔵書点検、研修、ホームページの運用等の実施。

平成27年度図書館費予算（当初）の状況

（単位：千円）

事 項 名	平成27年度 予算額(当初)	備 考
図書館管理運営費	42,361	館内維持管理諸経費 日本図書館協会等負担金 貸出カウンター運営管理等業務委託費
図書館資料充実費	37,155	一般図書購入費 児童図書購入費 新聞・雑誌等購入費 視聴覚機材・資料購入費 雑誌等製本費
館内奉仕運営費	526	館内サービス提供諸経費
コンピュータ管理運営費	4,426	コンピュータ関係経費 (第5期図書館システム修繕関連経費を除く。)
郷土資料調査収集研究費	933	総合学術調査経費 郷土資料収集費
読書活動推進費	1,041	協力車巡回諸経費等 読書振興大会補助金
計	86,442	

徳島県立図書館資料収集方針

I 基本的考え方

- 1 資料の収集選択に当たっては、県立図書館としての基本的性格を踏まえて、図書館法並びに「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に定める資料を収集する。
- 2 「図書館の自由に関する宣言」（日本図書館協会採択 1979年改訂）の精神を尊重する。
- 3 資料の選定においては、資料の価値及び利用者の要求に十分配慮し、県民の意向や資料収集委員以外の職員の意見も十分反映させる。
- 4 図書館機能の役割を認識し、効率のよい収集を行う。
- 5 資料の収集においては、蔵書の各分野別のバランスが適正になるように調整を図り、基本的な図書を中心に広く収集し、かつ、蔵書がいつも新鮮な状態を保つように配慮する。
- 6 寄贈図書の受け入れについては、前項の収集方針を適用し、その運用については別に定める。
- 7 寄託資料については、原則として、新たな受け入れは行わない。

II 図書選定者の任務

- 1 出版される資料に関して、豊富な情報、資料を持つこと。
- 2 担当する領域の資料を読み、その内容を把握すること。
- 3 図書館利用者のニーズ及び社会の現状について研究すること。

III 図書の内容、形態による収集

- 1 以下の形態を取るものについては収集しない。
 - (1) 切抜、組立を目的に編集されたもの。
 - (2) 書込を目的として編集されたもの。
 - (3) 著しく耐久性に欠けるもの。
- 2 プライバシー（人権）を著しく損なう資料は、特に内容表現等を検討する。
- 3 対立関係になる問題を扱ったものについては、双方の主張を収集する。
- 4 受験参考書、問題集、教師用テキストは収集しない。
- 5 外国語図書については、利用頻度が高いと予想されるものを収集する。
- 6 宗教に関しては、バランスを考慮し、特定宗派に偏らないようにする。

IV 個別基準

<郷土資料の収集>

郷土資料の収集に当たっては、次の点について留意する。

- 1 郷土資料の範囲は、徳島県全域（淡路を含む～近世）とする。
- 2 郷土に関係した文献及び資料は、すべて郷土資料とする。ただし、その一部分のみが郷土に関係しているときは、必要に応じて郷土資料として取扱う。
 - (1) 郷土地域について書かれたもの
 - (2) 郷土の人物について書かれたもの
 - (3) 郷土出身者、郷土在住者、郷土在職者の著作物
 - (4) 郷土で発行された図書以外のもの
- 3 郷土に関する資料は、保存用、貸出用を収集する。

<参考資料の収集>

参考資料については、原則として次の種類について収集する。

- | | |
|-----------------|--------|
| 1 辞典 | 7 年表 |
| 2 百科事典 | 8 地図帳 |
| 3 専門辞典 | 9 書誌 |
| 4 人名（伝記）事典、地名事典 | 10 索引 |
| 5 便覧（ハンドブック） | 11 抄録 |
| 6 図鑑 | 12 統計書 |

<児童資料の収集>

児童の健全な育成に配慮し、収集する。

<視聴覚資料の収集>

- 1 市販されている録音図書（カセット、CD等）、紙芝居を収集する。
- 2 郷土に関する資料を収集し、保存する。

<新聞・雑誌、その他逐次刊行物の収集>

- 1 主要な全国紙、地方紙、外国新聞を収集する。
- 2 広く読まれる雑誌、専門的な逐次刊行物、主要な外国雑誌を収集する。
- 3 逐次刊行物として取扱う資料の基準は、「逐次刊行物資料判定基準（昭和63年4月1日制定）」によるものとする。

<マイクロフィルムの収集>

徳島県に関連するものを収集する。

<特別集書の収集>

橋や川に直接関係した内容、テーマのものを収集する。

V 資料の収集方法

- 1 新刊案内、出版目録、各種書評等で選定し、購入・寄贈等により収集する。
- 2 市町村立図書館および利用者からの貸出希望については、各選定基準に基づき、可能な範囲で収集する。

VI 資料収集委員会で検討するもの

- 1 漫画及び漫画に類似した資料
- 2 一枚ものの資料
- 3 徳島県立図書館閲覧の制限に関する要綱第2条に規定する関係資料
- 4 特定の団体、企業等の売り込みによる資料
- 5 全集、分冊、シリーズ本、自費出版本
- 6 高額な資料
- 7 リクエスト資料
- 8 その他検討が必要と認める資料

VII その他

資料収集に関する個別の運用基準については、別途定める。

徳島県立図書館資料収集・選定運用基準

【趣旨】

この運用基準は、徳島県立図書館の資料の収集・選定を効率的に行うため、徳島県立図書館資料収集方針に基づき定めるものとする。

1 一般資料

(共通基準)

1. 各分野における原典、古典、名著は既存資料と内容を比較検討して収集する。
2. 各分野の主要な全集、選集、著作集、資料集、講座、叢書を収集する。
3. 各分野の入門書、概説書は専門的な観点から記述された内容の充実したものを収集する。
4. 各分野の専門書、学術書は類書と内容を比較検討して収集する。
5. 内容が高度で細分化された専門分野の資料については、大学・専門機関等の収集に委ねる。
6. 政府及び政府関係機関、団体などの資料は、各種報告書を中心に収集する。
7. 類書が多い分野は、テーマを史実や研究課題として扱ったもの、代表的な観点で書かれた資料を収集する。
8. 社会的関心の高いテーマに関する資料は、内容の充実したものを収集する。
9. 徳島県と関連の深い内容、県政課題、県民に関心のある課題に留意して収集する。
10. 各分野における受賞作品は、既存資料の利用状況などを考慮して収集する。
11. 増補、改訂版については、旧版との差異を考慮して収集する。
12. 復刻版は、蔵書構成の中で資料的価値のある資料を収集する。
13. 大活字本は積極的に収集する。
14. 実用書は、調査・研究に有効なものを中心として収集する。
15. 保存、利用に適さない形態の資料は、原則として収集しない。一過性ではなく長期の利用に耐えうる資料を収集する。
16. 単行本がある場合は、原則として文庫本より優先して収集するが、リクエストにおいてはこの限りではない。
17. 逐次刊行物扱いの資料と重複するものは収集しない。
18. 劣情をそそる資料については収集しない。

(分野別基準)

各分野においては、とくに以下の点に留意して収集する。

ア 総記

1. 情報科学に関する資料は入門書から専門書まで、最新のものを収集し、更新に努める。
2. 図書館、図書館学に関する資料は、積極的に収集する。

イ 哲学・宗教

1. 世界と日本の主要な哲学者の代表的な著作および哲学に関する解説書、研究書などを体系的・系統的に収集する。
2. 超心理学、心霊研究、占いに関する図書は研究書については精選し、それ以外のものについては厳選する。
3. 世界と日本の主要な宗教の聖典および宗教に関する解説書、研究書などを体系的に収集する。

ウ 歴史・地理

1. 歴史に関する基本的な資料、主要な解説書、研究書を幅広く収集する。
2. 日本の歴史に関する資料は、精選して収集する。
3. 世界各国、各地域の歴史に関する資料は、蔵書構成に考慮して収集する。

4. 伝記は、各分野、各時代の代表的な人物を中心に精選して収集する。
5. 地理については、国内外ともに蔵書構成に考慮して収集する。
6. 旅行ガイドブックは精選する。主要なものは必要に応じて更新する。

エ 社会科学

1. 各国事情に関する資料は、各国、各地域を網羅する。蔵書構成に考慮して収集する。
2. 法律に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集する。法令の制定、改正などに留意して、必要に応じて更新する。
3. 政治、経済に関する資料は、入門書から専門書まで幅広く収集するが、長期的な利用が見込めない時事的なものについては厳選して収集する。
4. 社会問題に関する資料は、幅広く収集する。
5. 教育に関する資料は、幅広く収集する。特に家庭教育、生涯学習に関する資料に留意して収集する。
6. 風俗、民俗に関する資料は、各地域、各民族を網羅する。

オ 自然科学

1. 自然科学に関する資料は、各分野について入門書から専門書まで幅広く収集する。
2. 医学・薬学に関する資料は、人体や病気及び医療についての理解に役立つ資料を中心に収集する。民間医療については、客観性、科学性、信頼性に留意する。
3. 科学の楽しさを伝えるエッセイや趣味教養の本なども著者・話題性・内容を考慮し、精選して収集する。

カ 技術・工学

1. 最新の研究成果や技術の進歩に留意し、体系的に収集する。各種の規格類、図面、図集などは基本的なものを必要に応じて収集する。
2. 研究の成果が生活の安全などに反映される分野に関しては、その知識の理解を助けるよう、基本的でわかりやすい図書を中心に収集する。
3. 生活科学については、学術的なものだけでなく日常生活に役立つ実用書を必要に応じて収集する。

キ 産業

1. 各種産業に関する資料を幅広く収集する。新しい技術や研究成果および社会的動向に留意する。
2. 商業、運輸、通信事業に関する資料は、最新の企業動向、時事性、話題性に留意して収集する。
3. 家庭向けの園芸資料、ペットに関する資料は精選する。

ク 芸術

1. 国内外の芸術の各分野の主要な解説書、研究書、作品集等を体系的に収集する。
2. 個人の画集、作品集については、当該作家の評価、知名度、既存資料との重複を考慮して精選する。
3. コミック漫画は、収集しない。但し、学習漫画は別途に判断する。
4. 写真集は、芸術性、記録性などに留意し精選する。
5. 音楽に関する資料は、幅広い分野の資料を収集する。楽譜は収集しないが、歌集、楽譜集は基本的なもの、調査・研究に有効なものを中心に収集する。
6. 伝記、読み物、エッセイは、既存資料と比較検討し精選する。
7. スポーツは、ルールブックや技術書などを中心に精選して収集する。
8. 囲碁、将棋、ゲーム等室内娯楽に関する資料は厳選して収集する。

ケ 言語

1. 文字・言語の歴史や成り立ちが概観できるもの、各言語の語彙・単語、文法、音韻、文体等が体系的に理解できるものを収集する。
2. 言語辞典は各言語の歴史・文化や有用性を考慮して収集する。
3. 学習等のための語学実用書は、目的に合わせてその効果の高いものを精選して収集する。但し、試験・資格を対象としたものは内容を十分に吟味する。

コ 文学

1. 内外の文学が体系的に理解できるような文学史、文学論を収集する。
2. 古典から現代まで文学史上に登場する主な作品とそれに関する作家論、作品論は幅広く選ぶ。著名な文学作品やその関係書については、精選する。
3. 文学形式や小説分野を問わず、描写にすぐれ作品性の高いものを選ぶ。
4. 時代性や社会性を反映し、将来評価の対象となりえる文学作品を選ぶ。
5. 主要言語の外国作品だけでなく、それ以外の外国作品も秀作を中心に幅広く選ぶ。

2 逐次刊行物

県内市町村立図書館、大学図書館、類縁機関等における収集状況を考慮し、慎重に選定する。

1. 雑誌

- (1) 情報誌は、多様な意見を反映した蔵書構成に努める。
- (2) 専門誌は、速報性、蓄積性を考慮し、幅広く収集する。
- (3) 業界誌は、各業界の動向が把握できるものを収集する。
- (4) 医療・健康誌は、記事の信憑性を吟味し、幅広く収集する。
- (5) 芸術・文化誌は、幅広い読者を対象としたものを収集する。
- (6) 文芸誌は、代表的なものを収集する。
- (7) 実用誌は、日常生活に役立つものを精選する。

2. 新聞

- (1) 主要な全国紙と地方紙、業界紙などを収集する。

3. 年刊類

- (1) 各分野の代表的な年鑑、年報類については、積極的に収集する。
- (2) 政府刊行の白書、統計類については、積極的に収集する。
- (3) 統計、調査報告は、一次資料を中心に収集する。また、編集されているものについては体系的に編集され、調査・研究に有用なものを収集する。
- (4) 継続収集に努めるが、定期的に版を重ねる（改定される）資料で大部なものは、必要に応じて随時収集する。

3 参考資料

- (1) 現在の社会情勢、県民の有する課題を考慮し、調査・研究活動を支援するものを、内容の改定に留意し積極的に収集する。
- (2) オンラインデータベースは、調査・研究に有用なものを精選する。
- (3) 館全体の蔵書構成を考慮し、整合性を図る。
- (4) 地形図等については、一枚ものであるが収集する。

4 特別集書

- (1) 橋と川に関する資料を幅広く収集する。
- (2) 農業利水、農業用水（614.3）は原則として除く。

5 郷土資料

1. 原則として、次のものを資料の種別に関係なく網羅的に収集する。

- (1) 内容が徳島地域に関する資料。地域の対象は徳島県全域とする。ただし、近世までは淡路を含む。
- (2) 内容が徳島ゆかりの人物に関する資料
- (3) 個人著者等が徳島出身の資料
- (4) 個人著者等が徳島在住または在職で、その足跡、活動が地域に影響を与えた人の資料
- (5) 県内自治体、関係機関が発行する地方行政資料
- (6) 徳島に拠点を置く事業所や各種団体が発行する年報、概要、研究報告、機関誌、記念誌広報、リーフレット
- (7) 県内の学校等が発行する要覧、研究紀要、記念誌、校誌、副読本、新聞、施設案内
- (8) 徳島で発行される同人雑誌
- (9) 徳島を舞台にした文芸作品
- (10) タウン誌、ミニコミ紙
- (11) 観光パンフレット、イベントちらし
- (12) 徳島の地方新聞および全国紙の徳島地方面
- (13) 徳島の地図類
- (14) その他郷土資料として保存・利用が必要なもの

2. 資料全体の一部分を扱っている場合は、量、内容、蔵書構成等を考慮し、必要に応じて収集する。

3. 一般雑誌、多巻ものの一部（1巻）に徳島を扱っている場合は該当の巻を収集する。

4. 保存用のほかに閲覧用・貸出用の収集に努める。

6 児童資料

1. 乳児から中高生など10代の子どもまでを対象として、次の資料を網羅的に収集する。

- (1) 児童図書
- (2) 紙芝居
- (3) ヤングアダルト向けの図書
- (4) 児童対象の録音図書など（CD）
- (5) 児童向きの逐次刊行物

2. 児童資料室用図書として次の資料を収集する

- (1) 児童図書や子どもの読書について調査・研究するための資料
- (2) 子どもの読書推進に役立つ大型絵本や関連資料
- (3) 但し、教科書及び教科書に関する研究書は、収集しない。

3. 収集の制限

原則として、次の形態や内容の資料は収集しない。

- (1) 形態
 - ・散逸しやすいもの
 - ・組み立て、切り抜きを目的に編集されたもの
 - ・著しく耐久性に欠けるもの
- (2) 内容
 - ・受験用参考書、問題集
 - ・商業的キャラクターを扱ったもので、マニュアル用として利用されるもの（ゲームの攻略本など）
 - ・戦争、性、生命等を興味本位に扱ったもの
 - ・童謡・わらべ唄を除く、音楽が主となるもの（CD、カセット）

附則

この基準は、平成25年4月1日から施行する

Ⅲ 平成26年度事業報告

1 情報支援課 関係

図書館の維持管理及び職員の人事、服務に関する事務を執行したほか、文化の森他館との連絡調整、研修会等を開催するとともに、友好文化団体と協力して業務を実施した。

また、市町村立図書館に対し、援助・協力するとともに、「とくしまネットワーク図書館」システムの充実に努め、県下の中核図書館として県民へのサービスを進めた。

(1) 企画関係業務

- ① 図書館の維持管理
- ② 各種統計調査、年報の発行
- ③ 各種講演会、図書館研修会等への職員の派遣
- ④ 徳島県立図書館協議会を12月19日に開催した。

(2) 協力関係業務

協力車による資料の貸出、県内図書館間の相互貸借を行った。また、県内全公共図書館と図書館未設置町教育委員会を訪問し、情報交換、相談・助言等を行った。

県内高等学校・特別支援学校図書館を対象に希望する資料の貸し出しを行っている。また、各読書振興団体と協力して読書の振興・普及を図った。

① 協力車による援助・協力活動を行った。 延べ巡回日数 345 日

(ア) 市町村立図書館に対する援助・協力活動を行った。

対象市町村数 19 市町村

協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 17,708 冊

(イ) 図書館未設置町への資料援助を行った。

対象町数 5 町

協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 2,449 冊

② 相談業務を年2回実施した。

対象 市町村立図書館 27 館、図書館未設置町 5 町

③ 県立学校図書館への資料援助を行った。

利用学校数 22 校 協力貸出(リクエスト) 貸出冊数 2,229 冊

④ 県立病院と連携した貸出サービスを実施した。

利用病院数 1 病院 貸出冊数 1,200 冊

⑤ 団体貸出の実施(職場・学校などの団体に対して貸し出しを行った。)

利用団体数 2 団体 貸出冊数 100 冊

⑥ 読書会文庫の貸出(1セット10冊の読書会文庫を貸し出した。)

利用団体数 15 団体 貸出冊数 1,455 冊

⑦ 「まなびの森」講演会(生涯学習支援事業)を放送大学徳島学習センターと連携し行った。

開催講演数 12 講演 参加人数 543 名

⑧ 総合学術調査を阿南市において実施(平成26年4月27日から5月6日まで、8月1日から10日まで)した。平成27年3月8日、阿南市文化会館で総合学術調査発表会を行った。

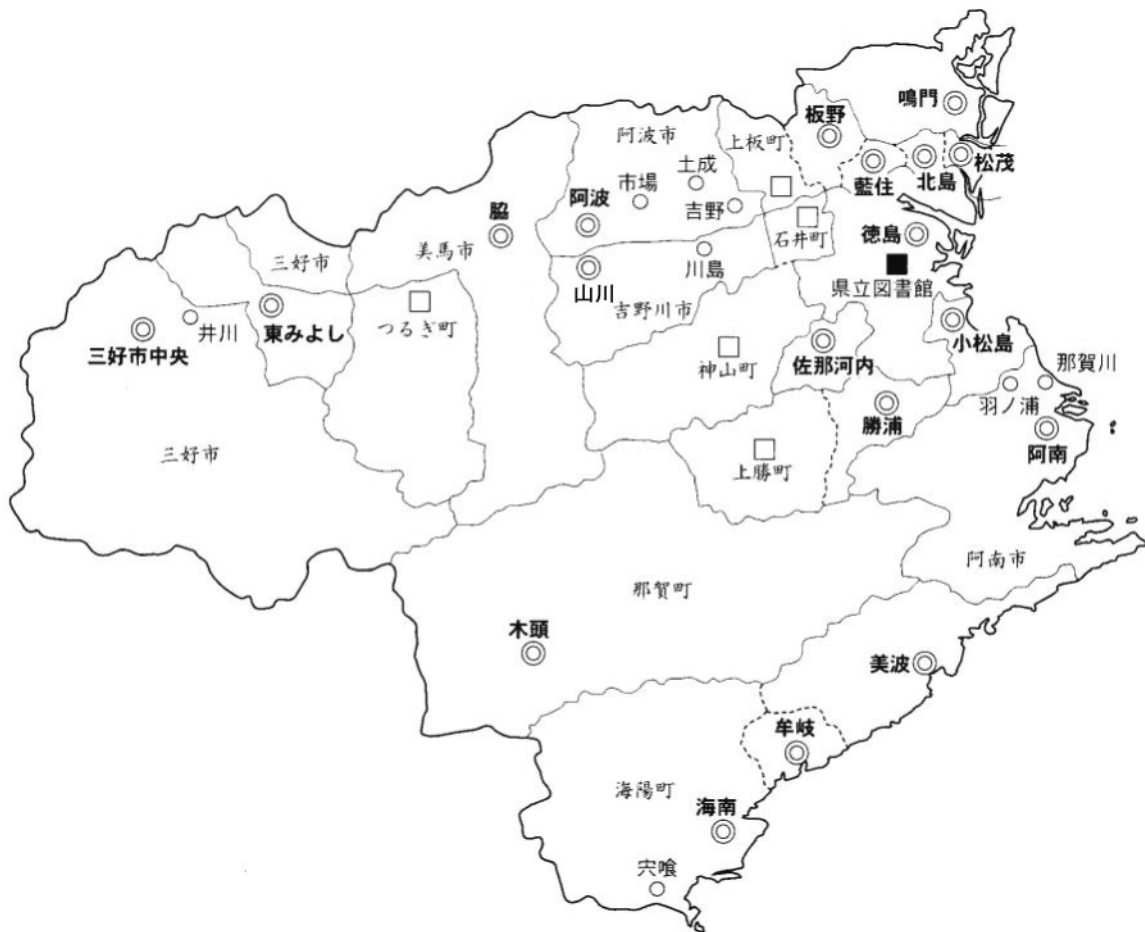
「総合学術調査報告 阿南市」を発行した。

⑨ 阿波学会創立60周年記念式典を、12月6日に開催した。

⑩ 実務担当者会を開催し、協力通信 No.220~228を発行した。

■ 協力車の巡回状況

(平成22年4月1日から県内すべての市町村に巡回)



◎：協力車巡回対象市町村立図書館（19館…自治体内の中心館に巡回）

□：協力車巡回対象教育委員会等図書館以外の施設

2 調査相談課 関係

県立図書館の基本的資料である逐次刊行物・参考図書・郷土資料を収集、整理、保存して広く県民の利用に供した。

館内及び、館外からの文書・電話・メールによるレファレンスサービス、県外公共図書館への相互貸借、市町村立図書館への協力業務（レファレンス）を進めたほか、郷土に関するあらゆる資料の収集と新聞のデジタル化・マイクロフィルム化を図り利用に供した。

(1) 逐次刊行物関係業務

逐次刊行物は、310,835冊を所蔵しており、ブラウジングコーナー・新聞雑誌コーナー等には、雑誌509タイトル（購入293、寄贈216）、新聞51種（購入32、寄贈19）、各種の年鑑、白書、統計等を配架して利用に供するとともに、一部を除き貸し出しも行った。

- ① 資料購入費（備品費）2,299,742円で、年鑑、白書等239点を購入した。
- ② 資料購入費（需用費）5,219,616円で、雑誌3,586冊、新聞32種、官報を購入した。
- ③ 寄贈資料は3,204冊を受け入れた。寄贈新聞は19種であった。
- ④ 製本費129,276円で、官報57冊の製本を行った。

- ⑤ 徳島県内公共図書館の購入雑誌と所蔵新聞について調査し、『徳島県内公共図書館購入雑誌・所蔵新聞目録 2014 年版』を作成するとともに、ホームページ上で「県内公共図書館雑誌一覧」を公開した。
- ⑥ 県立図書館応援事業として雑誌スポンサー事業を実施し、15団体より33誌の提供があった。
- ⑦ 雑誌のバックナンバーを用いた小展示をブラウジングコーナーで行った。
- ⑧ 電子コピー機による複写枚数は、57,677枚（白黒55,723枚、カラー1,954枚）であった。

(2) 参考資料関係業務

- ① 2,512,518 円で 参考図書 232 冊、41,452 円で 特別集書（橋と川に関する資料）を12 冊購入した。
寄贈資料は、参考図書 133冊であった。
- ② 参考資料数は 65,637 点であり、そのうち参考資料コーナーには 23,334 冊を開架した。特別集書数は 6,499 冊で特別集書コーナーに 4,122 冊を開架した。
- ③ 参考質問件数は 13,151 件で、内訳は、レファレンス記録記載分 1,218 件（そのうち、市町村立図書館等からの参考質問は 125 件、県議会・行政機関からの参考質問は21件）、所蔵検索等の資料案内件数が 11,933 件であった。
- ④ 資料の探し方についてのパスファインダーを作成し、館内で配布した。
- ⑤ 資料の相互貸借は、他館からの借り受けが 208 件 247 冊、他館への貸し出しが 872 件 1,353 冊で、合計1,080 件 1,600 冊であった。（協力車による県内図書館への貸し出しは除く。）
- ⑥ DVD-ROM版、CD-ROM版のデータベース、国立国会図書館デジタル化資料を閲覧用端末 3 台で、「聞蔵」等の商用データベースを端末 2 台で利用に供した。また、これらデータベースのプリントアウトサービスを行った。枚数は13,561 枚（白黒 13,543 枚、カラー 18枚）であった。
- ⑦ 利用者用インターネット端末2台の利用は288件であった。
- ⑧ 県立図書館の参考図書の新着案内を月 1 回「とくしまネットワーク図書館」に掲載し、平成26年8月よりホームページで公開した。

(3) 郷土資料関係業務

- ① 資料購入費（備品費）1,633,860 円で、図書 599 冊、CD 6 枚、DVD 5 枚を購入した。
- ② 200,448 円で新聞等のマイクロフィルム 5 巻と縮刷版DVD 12枚 を購入した。
- ③ 委託料 35,208 円で貴重資料 3 点をデジタル化した。
- ④ 資料購入費（需用費）96,256 円で、逐次刊行物 6 タイトル 121 冊と郷土新聞 1 タイトルを購入した。
- ⑤ 寄贈図書 824 冊、寄贈逐次刊行物 2,488 冊、その他の寄贈資料 24 点を受け入れた。
- ⑥ 製本費 208,872 円で、新聞等 7 タイトル 41 冊の製本を行った。また、32,400 円で 10 冊の修理製本を行った。
- ⑦ 「徳島新聞」等のマイクロフィルム・デジタル画像の閲覧 528 人、複写 8,074 枚であった。
- ⑧ 研究室1：57 件 58 人、研究室2：1 件 1 人、撮影室：13 件 13 人の利用があった。
- ⑨ 徳島新聞縮刷版 DVD からPDFファイルを作成したうえでデジタル画像閲覧システムに登録し、館内専用パソコンで利用に供した。

- ⑩ Web上に公開されている地方行政資料を当館の電磁的記録媒体に記録・保存した。
- ⑪ 郷土資料を探すためのヒントを与えるパスファインダー第8号、第9号を作成し、館内配布した。
- ⑫ 「四国遍路の本―手記とガイドブック」展などのミニ展示を郷土資料コーナーの展示ブースで計8回行った。

3 資料課 関係

一般貸出用資料、児童資料を購入及び寄贈により収集し、整理、保存している。それらの資料により、館内閲覧、個人貸出を行った。また子どもの読書活動推進についての研修会、展示等を実施し、障がい者、高齢者へのサービスを充実するため視聴覚資料の収集に努めるなど、県民全体への充実したサービスの向上を図った。

(1) 貸出関係業務

- ① 図書資料購入費 18,312,754 円で、一般資料コーナー用図書9,295 冊 17,900,286 円（大活字本を含む。）、視聴覚資料 70 点412,468 円（一般用CD 21 タイトル、DAISY 49 タイトル）をそれぞれ購入し、整理した。
- ② 寄贈資料1,509 冊を受け入れ、整理した。
- ③ 平成26年度末の一般資料数は 715,020 冊である。一般資料コーナーに約 21 万冊を開架し、書庫一般の資料は出納により利用に供した。平成 26 年度の書庫一般からの出納 21,692 冊で一日平均 76 冊であった。
- ④ 貸出冊数、貸出利用者数、登録者数
6 諸統計（24ページ）参照
- ⑤ 一般資料のリクエスト（予約）は 18,419 件であった。
- ⑥ 障がい者への郵送貸出の利用は、図書・雑誌 915冊、一般用視聴覚資料283 点、障がい者専用カセットテープ 627 巻、DAISY 56 枚であった。また、活字による読書が難しい人のためにデイジー、マルチメディアデイジーを利用できる専用端末、プレクストークを設置し、読書環境を整えた。
- ⑦ AVコーナーでは、CDデッキ 1 台を設置し、ヘッドホンにより自由に聴けるようにしている。また、車椅子のまま利用できるCD・カセット用機器を設置している。
- ⑧ 「セカンドライフ応援コーナー」を設置し、シニア世代に身近な課題をテーマに資料紹介、チラシ・パンフレット等による情報提供を行った。
- ⑨ 県立図書館応援事業のベストセラー寄贈事業では、56 冊の寄贈を受けた。
- ⑩ 「とくしま 私のこの一冊～徳島ゆかりの著名人」事業
平成25年2月13日より、ブラウジングコーナーにて、読書をより親しみやすいものとし、読書活動の推進を図ることを目的に、県内外の徳島ゆかりの著名人による推薦図書の紹介文をパネルにし、本とともに展示した。また、同内容をホームページ上で公開した。
【平成26年度展示】 第4回：3月4日～6月29日 第5回：7月1日～10月26日
第6回：平成26年10月28日～平成27年3月29日 第7回：3月31日～5月31日
- ⑪ 未来を切り拓く若い世代に興味・関心のあるテーマを取り上げ、年間6回のミニ展示を行い利用促進を図った。

(2) 児童関係業務

① 資料購入費（備品費） 4,199,668 円で、児童関係図書 2,866 冊、紙芝居 62 巻を購入し、整理した。また、新聞・雑誌購入費（需用費）は 273,548 円で、新聞を毎月 4 種類、雑誌を 38 種 341 冊を購入した。

② 館内利用と閲覧

こどもの本コーナーに約 50,000 冊を、児童資料室に子どもの読書や児童図書関連の研究書など約 3,500 冊を開架図書として配置した。

コーナーの一角に、ヤングアダルトコーナーを設け、中・高校生向けの図書を別置した。

また、子育てに関する図書約 800 冊と雑誌 10 誌、赤ちゃん絵本約 300 冊を集め、子育て関係機関等のパンフレットなども置いた、子育て支援図書コーナーの充実を図った。

③ 参考サービス

貸し出しとあわせて子どもの本に関する読書相談及び参考質問に応じた。また、なお一層のサービス向上を図るため、子どもの本、子どもの読書に関する参考図書や郷土関係資料を収集してその充実に努めた。

④ 児童関係資料のリクエスト（予約）は、1,989 件であった。

⑤ 学校図書館訪問相談を、特別支援学校 9 校 延べ 9 回行い、図書館業務に関する相談と県立図書館のサービスについての案内を行った。

⑥ 子どもの読書に関する研修会・行事

○「初めての方のための読み聞かせ講座」 6月1日 参加者：46名
講師：鳴門教育大学大学院教授 余郷裕次氏

初めて子どもたちに読み聞かせをされる方、してみたいと思っている方を対象に、絵本の読み聞かせ、絵本の持つ特徴などについて長年研究されている講師によるの講義とワークショップを開催した。

○おはなし会ボランティア研修会「絵本づくりについてのお話」 9月2日 参加者：18名
講師：山崎純世氏（徳島児童文学会副会長）

絵本の作り手から直に絵本に込められた思いや制作過程の話を伺う中で、より深く絵本を理解し、おはなし会の活動を深めていくための研修会を開催した。

○ 行事

赤ちゃんを楽しむおはなし会（毎月第 2 木曜日） 年間12回 参加者：延べ 203名

おはなし会（毎月第 2・4 日曜日） 年間23回 参加者：延べ 464名

赤ちゃんを楽しむおはなし会関連企画として、助産師さんによる子育てについてのアドバイス・相談の会「助産師さんとはなそう！」を 3 月に開催した。また、図書館探検隊、県職員による夏休み出前講座、親子で楽しむクリスマスおはなし会、文化の森連携事業「おはなし会」・「“しおり”を作ろう！」を開催した。

⑦ 広報

「こどもの本コーナーりようあんない」を常備し、来館者に配布した。

また、毎月 1 回「こどもの本コーナーだより」を発行し、来館者のほか県内の市町村立図書館、四国他県の図書館等に配布した。徳島県立図書館ホームページの「こどもの本コーナー」にも掲載した。ホームページの「こどもの本コーナー」を改修し、より多くの情報を発信できるようにした。

4 図書館システム関係業務

(1) 徳島県立図書館ホームページの運営

平成26年4月から徳島県立図書館のホームページを開設しており、随時更新作業を行っている。

(2) コンピュータ委員会

各係より選出された7名でコンピュータ委員会を構成し、図書館業務システムの各種運営等についての討議及び作業を行った。また、県立図書館ホームページ及び職員端末用ネットワークシステムの運用作業も行った。

(3) システム担当者会（随時）

文化の森5館の担当者の会議に出席。業務システム及び文化の森情報システムの運用のための各種作業、各館の情報交換についての作業を行った。

(4) 「とくしまネットワーク図書館」システムの運用

とくしまネットワーク図書館システムの運用を行った。

5 他機関との連携事業ほか

(1) ビジネス支援サービス普及事業

県内での図書館におけるビジネス支援サービスの普及のため、下記の事業を行った

○市町村向けビジネス支援研修会

第1回 11月28日 参加者：27名 第2回 12月12日 参加者：25名

○市町村向けビジネス支援関連資料の整備

ビジネス支援関連資料214冊を市町村に一括貸出した 実施市町村：1町

○しごと応援コーナーの充実

仕事に関する図書約 800 冊・雑誌の他に、ジョブカフェとくしま（徳島県若年者就職サポートセンター）・ハローワーク徳島などと連携して、平成26年度は、176点の就業情報パンフレットやポスター、毎週発行の求人情報なども置き、情報提供を行った。さらに、県内企業の社史・会社案内の収集提供も行い、関係機関との連携強化を図った。

(2) 県立図書館 県政情報テラス事業

平成23年11月から、県政情報テラス事業として、県の重点施策や地域の課題をわかりやすく周知、理解していただくコーナーを一般資料コーナーカウンター横に設置した。パブリックコメントと県政に関するチラシなどの広報資料を置き、気軽に見てもらっている。

26年度は、37件のパブリックコメントや募集結果を配布・公示した。また、県政に対する11件のチラシを配布した。

また、7月25日に県水・環境課の出前講座『よごれた水のゆくえ』を、3階集会室で開催するとともに、7月18日～7月27日まで、図書館3階ロビーで、パネル展示を行った。

(3) 県外図書館との交流企画展開催事業

図書館ネットワークを活用した企画交流展示により、図書館の情報発信力を高め、人・物の交流を促し、地域振興に資することを目的として平成22年度より開始した。

平成26年度は、兵庫県立図書館と、以下の交流企画展示と交流交換講座を行った。

○交流企画展示

- 27年2月19日～4月19日 「兵庫県立図書館ビブリオ堂
(会場：徳島県立図書館) ～図書館を利用した歴史・防災学習～」
27年2月20日～4月15日 「〈四国遍路〉の世界 ―開創1200年を迎えて」
(会場：兵庫県立図書館)

○交流交換講座

- 27年2月28日 「江戸時代 四国遍路のセーフティネット」
(会場：兵庫県立図書館) 講師：徳野隆 (徳島県立文書館)
27年3月8日 「兵庫県立図書館ビブリオ堂がやってくる」
(会場：徳島県立図書館) 講師：川東丈純 (兵庫県立文書館)

(4) 講師派遣、インターンシップの受け入れ、学校教育との連携

県立図書館では、社会教育施設や学校などの要請を受けて職員を講師として派遣している。生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験・インターンシップ」の受け入れも行っている。また、学校教育との連携として、学校の授業・遠足等による図書館利用を促進している。(別表)

(5) 文化の森連携事業

文化の森全館で5月5日に「食べる！文化の森フェスティバル」、8月24日に「文化の森サマーフェスティバル」、11月3日に「文化の森大秋祭り」、2月11日に「文化の森ウィンターフェスティバル」を実施し、図書館では『おはなし会』『図書館探検隊』や『おとなのための図書館ツアー』『おとなのための朗読会』などを開催した。

(6) 健康・医療関連事業

徳島県看護協会主催の「まちの保健室」を平成20年9月末より図書館1階で月2回実施し、平成26年度は551名が利用、57件の疾患や健康についての相談が寄せられた。また、6月には「歯の衛生週間」、11月には「全国糖尿病週間」、3月には「女性の健康週間」にあわせて、関連図書の小展示を行い、関係団体から提供を受けた啓発パンフレットを来館者に配布した。平成26年11月より「健康応援コーナー」を設置し、関係団体の協力を受けて収集したチラシ、パンフレット類を配架している。

(7) 「特別整理」の県民への理解と休館期間の周知をはかるため、『特別整理』って何するの?」のポスターを作成し館内に掲示するとともにホームページにも掲載した。

◆ 平成26年度刊行物

- | | | |
|---------------------------------|----------|---------------------|
| ①平成26年度 年報 | 350 冊 | (H26. 6. 1 発行) |
| ②図書館カレンダー | 30,000 枚 | (H27. 2. 1 発行) |
| ③阿波学会紀要 第60号
[阿南市 総合学術調査報告] | 300 冊 | (H27. 3. 1 : 阿波学会) |
| ④阿波学会60周年記念誌 | 1,000冊 | (H26. 12. 6 : 阿波学会) |

講師の派遣

徳島県立図書館では、社会教育施設や学校などの要請を受けて職員を講師として派遣している。平成26年度の派遣は次の通りである。

期 日	会 場	講座内容等	派 遣 職 員	参加者
7月30日	県立図書館	四国大学生 見学・意見交換	江澤眞理子・水上英俊	14
8月1日	県立図書館	徳島市名東郡小学校図書館部会（研修会）	小松真幸	35
8月9日	鳴門教育大学	社会教育主事講習 社会教育特講 「図書館の過去と未来」	鞆谷純一	15
8月20日 ～21日	県立図書館	教職員初任者研修 「館内整理作業・レファレンス業務・調べ学習の実習」	鎌田啓通・山口洋子 高橋律子・田村加代・小松真幸	4
8月28日	県立図書館	大正大学生 見学・意見交換	江澤眞理子・水上英俊	2
9月26日	県立図書館	鳴門教育大学生 見学・意見交換	江澤眞理子・水上英俊	6
10月23日	徳島県立城東高等学校	職業ガイダンス	中原美弥	6
11月27日	鴨島支援学校	出前おはなし会	久保貴栄・今井順子	50
12月2日	徳島県立障がい者交流プラザ	音訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	山口洋子	13
12月10日	県立図書館	徳島大学生 見学・意見交換	江澤眞理子・水上英俊	8
1月13日	佐那河内小学校	佐那河内小学校図書委員会（研修会）	小松真幸	6
1月14日	徳島県立障がい者交流プラザ	点訳奉仕員養成講習会 「読めないことばの調べ方」	山口洋子	13

職場体験・インターンシップ

生徒が、自分の学習内容や進路に関連した就業体験や見学を行う「中高生の職場体験・インターンシップ」の受け入れを行った。

	学 校 名	日 時	内 容	参加者
1	鳴門教育大学附属中学校	7月2日～4日	図書館の概要説明・館内見学および情報支援・調査・郷土資料・資料・児童各担当の業務について	2
2	四国大学	9月2日～5日	図書館の概要説明・館内見学および情報支援・調査・郷土資料・資料・児童各担当の業務について	1
3	鳴門渦潮高等学校	10月7日～8日	図書館の概要説明・館内見学および情報支援・調査・郷土資料・資料・児童各担当の業務について	4
4	名西高等学校	10月21日～22日	図書館の概要説明・館内見学および情報支援・調査・郷土資料・資料・児童各担当の業務について	1
5	城東中学校	10月30日～31日	図書館の概要説明・館内見学および情報支援・調査・郷土資料・資料・児童各担当の業務について	5
6	城西高等学校	11月5日～6日	図書館の概要説明・館内見学および情報支援・調査・郷土資料・資料・児童担当の業務について	1
7	城ノ内中学校	11月21日～22日	図書館の概要説明・館内見学および情報支援・調査・郷土資料・資料・児童担当の業務について	4

学校教育との連携－学校の授業・遠足・見学等による図書館利用－

	学 校 名	日 時	内 容	参加者
1	徳島市上八万小学校（2年）	5月2日	遠足・おはなし会・館内見学	56
2	鳴門市撫養小学校（3年）	5月20日	遠足・おはなし会・館内、書庫見学	47
3	徳島市内支援学級（方上小学校ほか）	6月25日	遠足・おはなし会	36
4	名東郡佐那河内小学校（1・2年）	10月3日	遠足・おはなし会・館内見学	32
5	小松島市新開小学校（1・2年）	10月17日	遠足・おはなし会・館内見学	72
6	東かがわ市大内小学校（2年）	10月22日	遠足・おはなし会・館内見学	68
7	徳島市津田小学校（2年）	10月30日	遠足・おはなし会・館内見学	134
8	吉野川市立上浦小学校（1・2年）	10月31日	遠足・おはなし会・館内見学	28
9	阿南市今津小学校（1年）	11月6日	遠足・おはなし会	31
10	徳島市入田幼稚園	11月13日	遠足・館内説明	13
11	徳島市方上小学校（4年）	11月26日	遠足・おはなし会・館内、書庫見学	36
12	名西郡高原小学校（2年）	12月3日	遠足・おはなし会・館内見学	37
13	徳島市八万南小学校（2年）	12月4日	遠足・おはなし会・館内見学	100
14	名西郡神領小学校（2年）	12月17日	遠足・おはなし会・館内見学	22
15	名西郡広野小学校（2・5・6年）	3月4日	遠足・館内見学	31

参考：図書館資料充実費内訳（製本費等を除く）

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
○調査相談課					
(1)	遂次刊行物	7,202,385	7,428,987	7,151,703	7,519,358
	資料購入（備品費）費用	2,688,142	2,327,538	2,062,584	2,299,742
	点数	296	259	245	239
	資料購入（需用費）費用	4,514,243	5,101,449	5,089,119	5,219,616
	雑誌種数	285	283	289	293
	新聞紙数	33	30	34	32
	官報	1	1	1	1
(2)	参考資料（備品費）	3,663,045	3,189,347	3,438,578	2,553,970
	参考図書費用	3,587,011	3,096,294	3,069,635	2,512,518
	冊数	323	295	297	232
	特別集書費用	76,034	93,053	69,568	41,452
	冊数	25	31	23	12
(3)	郷土資料	1,463,648	1,496,464	1,390,546	1,730,116
	資料購入（備品費）費用	1,359,396	1,409,542	1,301,466	1,633,860
	図書冊数	551	583	616	599
	CD等点数	27	7	20	11
	資料購入（需用費）費用	104,252	86,922	89,080	96,256
	雑誌種数	8	5	5	6
	新聞紙数	1	1	1	1
○資料課					
(1)	貸出用図書（備品費）	13,889,391	15,573,524	18,564,713	18,312,754
	一般資料図書購入費	13,653,943	15,318,044	18,034,213	17,900,286
	冊数	7,680	8,319	10,031	9,295
	視聴覚資料購入費	145,460	165,480	440,500	412,468
	点数	21	19	28	70
	点字図書分室用資料費	89,988	90,000	90,000	—
	点数	11	14	23	—
(2)	児童関係図書	* 5,837,483	3,697,917	3,885,977	4,473,216
	資料購入（備品費）費用	5,599,969	3,499,835	3,633,893	4,199,668
	児童図書冊数	3,720	2,311	2,559	2,866
	紙芝居巻数	52	58	49	62
	CD等点数	4	0	1	0
	資料購入（需用費）費用	237,514	198,082	252,084	273,548
	雑誌種数	30	34	37	38
	新聞紙数	3	3	4	4
	図書資料購入費合計	32,055,952	31,386,239	34,431,517	34,589,414
	図書購入費（備品費）	27,199,943	25,999,786	29,001,234	28,999,994

*印は、子育て関連の
一般図書を含む

6 諸 統 計

○現有図書資料（平成27年3月31日現在）

〈単位：冊〉

区分 分類	館 内	館 外	こ ども	計	前年度末現在
0：総 記	112,701	2,359	6,548	121,608	119,078
1：哲 学	58,471	4,339	1,746	64,556	64,013
2：歴 史	111,850	7,488	6,642	125,980	124,797
3：社会科学	291,423	12,317	9,772	313,512	308,120
4：自然科学	96,485	8,585	12,962	118,032	116,209
5：技 術	126,923	5,150	5,301	137,374	135,967
6：産 業	77,994	2,549	2,433	82,976	81,807
7：芸 術	125,206	7,594	15,367	148,167	146,249
8：言 語	23,010	1,522	2,286	26,818	26,660
9：文 学	216,806	64,989	47,038	328,833	327,877
童 話	7	5,564	14,634	20,205	20,574
絵 本	92	5,110	68,591	73,793	73,944
そ の 他	59,032	0	4,038	63,070	63,036
計（冊）	1,300,000	127,566	197,358	1,624,924	1,608,331

○利用者登録者数

区 分	
年間館内登録者数	3,478人
26年度末有効登録者数	*147,614人
団 体 貸 出（団体）	2 団体
読 書 会 文 庫（団体）	15 団体

*貸出利用可能な登録者数を記載

○図書貸出冊数（平成26年度）〈単位：冊〉

区 分	冊 数	
個人貸出	図書	521,653
	洋書	1,553
	視聴覚資料	24,736
	逐次刊行物	41,329
	小 計	593,299
協力貸出	図書館・図書館未設置 町教育委員会	20,157
	県立学校	2,229
	小 計	22,386
団 体	団体貸出	100
	県立病院貸出	1,200
	ファミリー・サポート・ センター貸出サービス	100
	読書会文庫	1,455
	小 計	2,855
障がい者専用セット・DAISY	683	
貸 出 総 数	619,223	

○県外相互貸借（平成26年度）

【貸出】

	四国内	四国外	その他	合計
件数	423	443	6	872
冊数	717	630	6	1353

【借受】

	四国内	四国外	国会図書館	その他	合計
件数	77	119	10	2	208
冊数	95	140	10	2	247

○月別利用状況 (平成26年度)

〈単位：日・人・冊・回〉

	開館 日数 (日)	登 録 者		貸 出 利 用 者		貸 出 冊 数		予 約 ・ リ ク エ ス ト		参 考 質 問						
		月 計	日 平 均	月 計	日 平 均	月 計	日 平 均	月 計	日 平 均	口 頭	電 話	文 書	メー ル	資 料 案 内	月 計	日 平 均
4月	25	267	11	12,786	511	50,911	2,036	1,777	71	48	28	5	14	968	1,063	43
5月	26	349	13	13,571	522	52,220	2,008	1,869	72	53	28	3	9	1,108	1,201	46
6月	24	266	11	12,782	533	49,709	2,071	1,706	71	63	37	6	15	1,016	1,137	47
7月	26	386	15	14,227	547	54,969	2,114	1,839	71	54	47	4	12	1,198	1,315	51
8月	25	416	17	14,479	579	55,086	2,203	1,720	69	51	31	2	8	1,196	1,288	52
9月	24	285	12	12,949	540	50,122	2,088	1,675	70	52	27	6	13	1,065	1,163	48
10月	26	277	11	12,848	494	48,823	1,878	1,879	72	60	42	4	12	1,025	1,143	44
11月	25	292	12	13,677	547	52,938	2,118	1,928	77	49	38	9	7	987	1,090	44
12月	23	217	9	11,213	488	43,830	1,906	1,615	70	43	29	4	11	754	841	37
1月	17	191	11	9,670	569	38,211	2,248	1,477	87	50	29	9	9	732	829	49
2月	20	263	13	11,517	576	45,138	2,257	1,894	95	49	24	5	12	850	940	47
3月	25	269	11	13,078	523	51,342	2,054	2,198	88	57	40	4	6	1,034	1,141	46
合計	286	3,478	/	152,797	/	593,299	/	21,577	/	629	400	61	128	11,933	13,151	/
平均	24	290	12	12,733	534	49,442	2,074	1,798	75	52	33	5	11	994	1,096	46

2 施設・設備

建物の概要

- ◎ 建築面積 4,354.182㎡
- ◎ 延床面積 8,989.594㎡
- ◎ 構造 鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上3階 塔屋2階
- ◎ 収蔵能力 約120万冊

<施設規模及び構成要素>

用途・分類	面積 (㎡)	用途・分類	面積 (㎡)
<開架スペース>	[4,085]	<管理スペース>	[1,393]
一般書架スペース	1,638	館長室	54
開架書架コーナー	1,305	事務室 (整理作業室)	411
ブラウジング	243	コンピュータ室	48
対面朗読室	13	会議室	87
ワークルーム	22	スタッフラウンジ	60
カウンター	55	集会室 (大)	122
こどもの本コーナー	566	集会室 (小)	65
開架書架コーナー	502	集会準備室	25
おはなしコーナー	37	控室	24
児童資料室	27	団体貸出室	39
新聞雑誌コーナー	370	図書整理室	74
参考資料コーナー	427	サービスヤード	122
開架書架コーナー	404	展示ロビー	82
研究室	23	応接室	35
郷土資料コーナー	422	警備員室	22
開架書架コーナー	355	更衣室 (2)	22
マイクロリーダー室	27	湯沸室 (2)	17
研究室	23	倉庫 (2)	84
撮影室	17	<機械・設備スペース>	[693]
エントランスホール	204	機械室 (5)	575
ロッカーコーナー	69	電気室	92
その他	389	ハロンガスボンベ室	26
<収蔵スペース>	[1,843]	<その他>	[975]
館内書庫	1,434	1階エントランス	225
館外書庫	349	その他	750
貴重書庫	60		
* 書庫は積層式になっているため、実質 3,626㎡ある。			

3 沿 革

年 月 日	事 項
大正 5 年 7 月 24 日	大正天皇即位記念として創立。徳島県立光慶図書館と称する。
大正 6 年 6 月 24 日	開館式を挙げる。
昭和 20 年 7 月 4 日	戦災により焼失する。
昭和 24 年 5 月 3 日	徳島県立光慶図書館を再建し、憲法記念館と称する。
昭和 25 年 3 月 13 日	火災により焼失する。
昭和 25 年 7 月 25 日	移動図書館車「文化バス」が巡回を開始し、館外奉仕活動を始める。
昭和 25 年 12 月 1 日	図書館法により、徳島県立図書館と称する。
昭和 28 年 11 月 3 日	館舎を再建し、館内奉仕活動を始める。
昭和 30 年 4 月 1 日	「文化バス」を「やまなみ号」と改称する。
昭和 37 年 3 月 18 日	移動図書館車「やまなみ 2 号」を増車、やまなみ 1 号・2 号となる。
昭和 41 年 7 月 24 日	創立 5 0 周年記念式典を挙げる。
昭和 43 年 4 月 1 日	徳島県憲法記念館規則が廃止され、徳島県立図書館規則が定められた。 会計規則の一部改正により、憲法記念館から県立図書館に改名された。
昭和 45 年 3 月 31 日	徳島県立図書館規則が廃止され、徳島県立図書館管理規則が定められた。
昭和 51 年 7 月 14 日	移動図書館車を廃車し、配本車「やまなみ 2 号」を新設する。
昭和 52 年 7 月 28 日	創立 6 0 周年記念大会を挙げる。
昭和 55 年 1 月 7 日	知事が、図書館、博物館の改築、美術館の建設を中核とした「文化の森」構想を発表する。
昭和 57 年 3 月 23 日	文化の森の建設が、徳島市八万町向寺山に決定された。
昭和 59 年 5 月 9 日	図書館基本構想検討委員会が発足する。
昭和 61 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の基本設計が完了する。
昭和 62 年 3 月 10 日	文化の森各文化施設の実施設設計が完了する。
昭和 62 年 6 月 25 日	創立 7 0 周年記念講演会を挙げる。
昭和 62 年 7 月 14 日	文化の森各文化施設の建設工事に着手する。
昭和 63 年 2 月 1 日	協力車「やまなみ」を新設する。(移動図書館事業の廃止による。)
平成元年 10 月 31 日	文化の森図書館棟の本体工事が竣工する。
平成 2 年 4 月 1 日	文化の森図書館へ移転のため休館する。
平成 2 年 11 月 3 日	文化の森図書館として新築開館する。
平成 7 年 10 月 17 日	文化の森開園 5 周年記念事業「ベストセラーでみる戦後展」を開催する。
平成 12 年 10 月 20 日	文化の森開園 1 0 周年記念「世紀末大博覧会」を 5 館共同で開催する。 図書館は、「海野十三の描いた未来」を担当する。
平成 17 年 10 月 22 日	文化の森開園 15 周年記念企画展「ふるさと再発見ー15 の人・もの・場所」を 5 館共同で開催する。図書館は、「岡本草庵」の展示等を担当する。
平成 22 年 2 月 16 日	文化の森に移転後、来館者一千万人を達成する。
平成 22 年 11 月 23 日	文化の森開園 2 0 周年記念展「軌跡」と記念行事「文化の森大秋祭り！」を 5 館共同で開催、おはなし会と阿波学会ワークショップ等を担当する。
平成 23 年 4 月 1 日	貸出カウンターの業務委託を行う。

4 歴代館長

就任年月日	館長	館長事務取扱
大正 5 年 7 月 26 日		県内務部長 広瀬直幹
大正 5 年 11 月 6 日		県内務部長 亀井光政
大正 6 年 3 月 31 日		県学務課長 林恒四郎
大正 6 年 10 月 10 日		県学務課長 確野千太郎
大正 10 年 3 月 17 日		司書 岩瀬亀之進
大正 10 年 3 月 31 日	岩瀬 亀之進	
大正 13 年 12 月 6 日		県学務課長 鈴木省吾
大正 13 年 12 月 20 日		県内務部長 小島庄吉
大正 14 年 1 月 9 日		県学務課長 小松本三郎
大正 15 年 8 月 26 日		県社会教育主事 栖本崎善一
昭和 2 年 2 月 14 日	坂本 章好 三太	
昭和 13 年 9 月 22 日	今田 好	
昭和 19 年 3 月 22 日		県青少年教育課 三好菊夫
昭和 19 年 4 月 25 日		県青年教育課長 沖田武雄
昭和 19 年 6 月 6 日	大岡 谷 幹 男	
昭和 20 年 4 月 26 日	岡島 幹 雄	
昭和 22 年 8 月 31 日	原田 武 夫	
昭和 24 年 5 月 3 日	蒲池 正 夫	
昭和 37 年 4 月 1 日	藤居 信 一	
昭和 38 年 4 月 1 日	上原 浩 一	
昭和 44 年 4 月 1 日	竹喜 俊 一	
昭和 50 年 4 月 1 日	喜田 泰 臣	
昭和 52 年 4 月 1 日	高井 静 雄	
昭和 54 年 4 月 1 日	石堂 廣 光	
昭和 56 年 4 月 1 日	近藤 俊 夫	
昭和 58 年 4 月 1 日	岩佐 健 二	
昭和 61 年 4 月 1 日	岸 正 司	
昭和 63 年 4 月 1 日	芝 正 裕	
平成 2 年 4 月 1 日	山 下 博 之	
平成 5 年 4 月 1 日	日 野 川 巖 正	
平成 7 年 4 月 1 日	中 武 米 靖 二	
平成 8 年 4 月 1 日	武 米 靖 二	
平成 10 年 4 月 1 日	大 小 福 明 二	
平成 11 年 4 月 1 日	福 松 明 宏	
平成 13 年 4 月 1 日	松 今 隆 昭	
平成 14 年 4 月 1 日	今 崎 治 清	
平成 15 年 4 月 1 日	桐 本 聰 春	
平成 16 年 4 月 1 日	早 見 義 一	
平成 17 年 4 月 1 日	早 見 義 一	
平成 18 年 4 月 1 日	早 見 義 一	
平成 19 年 4 月 1 日	早 見 義 一	近代美術館長 阿部修三
平成 19 年 5 月 1 日	桑上 村野 誠	
平成 20 年 4 月 1 日	桑上 村野 誠	
平成 21 年 4 月 1 日	中林 秀忠 良	
平成 22 年 4 月 1 日	中林 秀忠 善	
平成 24 年 4 月 1 日	青吉 木成 章	
平成 25 年 4 月 1 日	吉 成 行	
平成 27 年 4 月 1 日	吉 成 行	
平成 27 年 5 月 1 日	榎 納 正 明	二十一世紀館長 中瀬敬一

V 平成26年度行事記録

1 集会行事

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
4月25日	徳島県読書振興協議会正副会長会	正副会長	26年度役員、26年度読書振興大会、26年度理事会・総会について	9
4月27日	阿波学会総合学術調査中間発表会 (阿南市文化会館)	調査員・市関係者・一般参加者	担当班が調査内容を中間発表	102
4月27日 ～ 5月6日	平成26年度総合学術調査	各調査班員	阿南市調査	42
5月5日	おいしそうなおはなし会 (食べる！文化の森フェスティバル)	児童担当	「おいしそう！」をテーマに大型絵本やエプロンシアター、てあそびなどを実施	47
5月9日	徳島県公共図書館協議会理事会	理事	25年度事業報告・決算、26年度事業計画・予算	23
5月9日	阿波学会60周年記念誌 第5回拡大編集委員会	編集委員	阿波学会60周年記念誌の編集について	11
6月1日	初めての方のための読み聞かせ講座	講師： 余郷裕次氏	絵本の読み聞かせについての講義とワークショップ	46
6月6日	第1回徳島県図書館職員研修会	講師： 中沢孝之氏	講義・演習 「図書館におけるリスクマネジメント」	49
6月11日	徳島県読書振興協議会理事会 総 会	理事 —	25年度決算、 26年度事業計画	理26 総33
6月18日	第1回阿波学会理事会 評議員会	理事 評議員	25年度決算、26年度計画 60周年記念事業について	理 7 評18
6月25日	第2回徳島県図書館職員研修会	講師： 鞆谷純一 県立図書館職員 田中敦司氏	講義「図書館の自由に至るまで」 講義 「図書館の自由について」	33
7月1日	阿波学会60周年記念誌 第6回拡大編集委員会	編集委員	阿波学会60周年記念誌の編集について	10
7月1日	阿波学会紀要第60号 第1回編集委員会	編集委員	阿波学会紀要第60号の編集について	10
7月11日	徳島県公共図書館協議会 第1回研究・研修委員会	研究・研修委員	26年度図書館大会について 今年度の研究テーマ	9
7月14日	臨時 阿波学会理事会	理事	26年度特別会計について	7
7月25日	出前講座 徳島県水・環境課 「よごれた水のゆくえ」	県水・環境課職員ほか	小学3年～6年を対象に 汚水処理について学ぶ	30

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
8月2日	講演「勘緑さんとじょうりり人形で遊ぼう」	勘緑氏 人形浄瑠璃とくしま座	阿波人形浄瑠璃公演と、人形遣い勘緑さんによるワークショップ	71
8月1日 ～10日	平成26年度総合学術調査	各調査班員	阿南市調査	31
8月24日	夏のおはなし会 (文化の森サマーフェスティバル)	県立図書館おはなし会ボランティアスタッフ	絵本の読み聞かせや大型絵本・パネルシアターを実施	45
8月24日	図書館探検隊 (文化の森サマーフェスティバル)	児童担当	小学3年生以上を対象に、図書館の事務室・書庫などふだん入れない場所を案内	38
8月24日	おとなのための朗読会 (文化の森サマーフェスティバル)	イベント・広報委員会	住友美代子さん朗読樋口一葉作「十三夜」	48
9月2日	おはなし会ボランティア研修会	講師： 山崎純世氏	「絵本づくりについてのお話」	18
9月3日	徳島県読書振興協議会優良読書グループ選考会	会長・副会長	全国及び徳島県の優良読書グループ推薦団体を選考	7
9月12日	徳島県公共図書館協議会第2回研究・研修委員会	研究・研修委員	予約・リクエスト実態調査／初任者向けマニュアル／図書館大会進捗状況	9
9月19日	臨時 阿波学会理事会	理事	阿波学会60周年式典について	6
9月30日	阿波学会60周年記念誌第7回拡大編集委員会	編集委員	阿波学会60周年記念誌の編集について	12
9月30日	阿波学会紀要第60号第2回編集委員会	編集委員	阿波学会紀要第60号の編集について	11
10月22日	第2回阿波学会理事会	理事 評議員	阿波学会創立60周年記念事業について	8 17
10月23日	阿波学会紀要第60号第3回編集委員会	編集委員	阿波学会紀要第60号の編集について	10
10月25日	読書バリアフリー研究会	伊藤忠記念財団ほか	障がいのある子どもたちへの読書支援について	35
10月26日	徳島県読書振興大会 (阿波大会：阿波市)	講師：世羅博昭氏	講演「自らを耕して生きる」／事例発表2題他	251
11月3日	秋のおはなし会 (文化の森大秋祭り)	県立図書館おはなし会ボランティアスタッフ	絵本の読み聞かせ・紙芝居・ブラックパネルシアターを実施	59
11月3日	おとなのための朗読会 (文化の森大秋祭り)	イベント・広報委員会	住友美代子さん朗読林芙美子作「放浪記」	45
11月3日	おとなのための図書館ツアー (文化の森大秋祭り)	イベント・広報委員会	おとなを対象にふだん入れない書庫などを案内	14

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
11月6日	阿波学会紀要第60号 第4回編集委員会	編集委員	阿波学会紀要第60号の編集について	9
11月21日	徳島県公共図書館協議会 第3回研究・研修委員会	研究・研修委員	初任者向けマニュアルの検討	8
11月27日	阿波学会60周年記念誌 第1回編集委員会	編集委員	阿波学会60周年記念誌の編集について	11
11月28日	第3回徳島県図書館職員研修会	講師： 小林隆志氏	講義「課題解決型の図書館の実現とは」	32
11月28日	第1回ビジネス支援研修会	講師： 竹内利明氏	「ビジネス支援と地域活性化」	27
12月6日	阿波学会60周年記念講演会 (徳島大学常三島けやきホール)	講師：山泰幸氏	「徳島の自然と文化を活かしたまちづくり」	105
12月7日	クリスマスおはなし会	読み聞かせグループ 「お話し玉手箱」	4歳から小学3年生までと保護者を対象に、人形劇・大型絵本・パネルシアターを実施	64
12月10日 ～ 12月16日	文化の森人権啓発展 (文化の森6館共催) (会場：近代美術館1Fギャラリー)		「人権関係資料・識字関係資料」を展示	315
12月12日	第2回ビジネス支援研修会	講師： 齊藤誠一氏	「ビジネス支援サービスを踏まえたレファレンス・ワーク」	25
12月12日	協力業務実務担当者会	実務担当者	県下の公共図書館間の協力業務・相互貸借について	33
12月19日	徳島県立図書館協議会	協議会委員	25年度事業実績について 26年度事業の実施状況について 徳島県立図書館サービス向上目標（第2期）の推進・評価について他	22
1月17日	阿波学会60周年記念公開講座 第1回	地質班 農村医学班	「山・石・化石が語る徳島の自然と文化」 「徳島県人のBMI、腹囲、血圧、血液検査値」	30
1月24日	阿波学会60周年記念誌 第2回編集委員会	編集委員	阿波学会60周年記念誌の編集について	12
1月24日	阿波学会60周年記念公開講座 第2回	植物相班 鳥類班	「徳島のイネ科植物こぼれ話」 「鳥類班の調査活動」	26
2月7日	阿波学会60周年記念公開講座 第3回	昆虫班 クモ類班	「昆虫類の調査方法の進歩」 「徳島のクモ類・ザトウムシ類」	10

期 日	集 会 名	講師・出席者等	内 容 等	人員
2月11日	図書館探検隊ミニ（文化の森ウインターフェスティバル）	児童担当	小学3年生以上を対象に、図書館の事務室・書庫などふだん入れない場所を案内2回実施	30
2月11日	“しおり”を作ろう！（文化の森ウインターフェスティバル）	イベント・広報委員会	紙を貼ってオリジナルのしおりを作成	99
2月18日	阿波学会60周年記念誌第3回編集委員会	編集委員	阿波学会60周年記念誌の編集について	12
2月20日	徳島県図書館大会 テーマ：「本とつながる 人とつながる 未来につながる図書館づくり」	講師： 草谷桂子氏 斎藤正氏	講演： 「絵本の中の図書館」 講演：「図書館（図書館員）は何をしたらいいのか」	53
2月21日	阿波学会60周年記念公開講座第4回	民間薬調査班 社会班	「民間薬調査とは？その学問的意義と必要性」 「社会調査の魅力：過疎や老親扶養を測る」	20
2月28日	徳島県立図書館×兵庫県立図書館 交流交換講座 （兵庫県立図書館）	講師： 徳野隆氏 （文書館）	「江戸時代 四国遍路のセーフティネット」	54
2月28日	阿波学会60周年記念公開講座第5回	民家班 社寺建築班	「徳島の民家」 「徳島の社寺建築」	23
3月6日	徳島県公共図書館協議会第4回研究・研修委員会	研究・研修委員	来年度の研修について 初任者向けマニュアルの検討	8
3月8日	阿波学会総合学術調査発表会（阿南市文化会館）	調査員・市関係者・一般参加者	担当班が調査内容を中間発表	102
3月8日	兵庫県立図書館×徳島県立図書館 交流交換講座	講師： 川東丈純氏	「兵庫県立図書館ビブリオ堂がやってくる～カンベッチョナイものがたり」	21
3月12日	助産師さんとはなそう！	助産師	赤ちゃんと楽しむおはなし会関連企画	15
3月14日	阿波学会60周年記念公開講座第6回	考古班 地方史班	「阿波板碑の特徴」 「史料が語る徳島の歴史」	15
3月18日	阿波学会60周年記念誌第4回編集委員会	編集委員	阿波学会60周年記念誌の編集について	11
3月21日	阿波学会60周年記念公開講座第7回	民俗班 方言班	「徳島の民俗」 「方言班60年の歩み」	22
3月28日	阿波学会60周年記念公開講座第8回	地理班 水質班	「絵図で読む近世の阿波」 「徳島の豊かな水環境を守るために」	16

○ 共催集会行事 まなびの森講演会（毎月1回：放送大学徳島学習センターと共催）

期 日	講 演	講 師	内 容 等	人 員
4月26日	観光ガイドから見た徳島県の観光と歴史文化遺産	講師： 讃野由高氏	観光ガイドとしての体験を通して得た徳島県の観光の現状について考察した。	53
5月17日	がん不安の時代を生きるための健康管理	講師： 雄西智恵美氏	看護の立場から、がん予防やがん医療の現状、がん不安の時代を生き抜くための健康管理について話した。	56
6月7日	福島を忘れない！農業の放射能被害と風評問題	講師： 玉真之介氏	放射能の恐ろしさを農業生産の面から理解し、福島県における様々な取り組みを紹介した。	41
7月19日	阿波の人形浄瑠璃と十郎兵衛について	講師： 郡利明氏	阿波人形浄瑠璃の特徴と、謎の多い庄屋十郎兵衛について、歴史的事実を検証し、実像と虚像に迫った。	72
8月30日	近年の洪水災害の特徴とその対策	講師： 武藤裕則氏	近年の水害や被災事例のほか、治水に関する新しい考え方や技術の進化を紹介し、水害対策について考えた。	52
9月20日	江戸時代後期の阿波書道文化	講師： 太田剛氏	貫名菘翁や柴秋邨のような有名書家を輩出した過程を、作品や書道遺物の紹介を通して述べた。	26
10月4日	ボランティアで結ぶ夢と絆	講師： 仁木一夫氏	アジアの子ども達に学校を贈る活動をしている「はあとふる松茂」の活動事例を紹介した。	23
11月22日	高齢社会における財産管理制度	講師： 清水真人氏	法改正や制度整備の状況を紹介して、現行制度の問題点や、高齢者の財産管理制度の構築について考えた。	39
12月20日	がん免疫療法の現状と可能性	講師： 宇都義浩氏	がん免疫療法の仕組みや種類、治療対象や効果について概説し、新しいがん免疫療法について紹介した。	48
1月10日	3Dディスプレイの仕組み	講師： 陶山史朗氏 山本裕紹氏	視覚による奥行き知覚のメカニズムについて説明し、3Dディスプレイの仕組みについて解説した。	36
2月14日	佐々木氏と阿波について	講師： 西條陽一氏	西国17カ国に地頭として配置された佐々木氏と阿波の関わりを考察し、吉野町西條を本貫とする西條佐々木氏について詳述した。	61
3月7日	私たちの暮らしと法	講師： 古田修一氏	具体的な事例を通して、法が身近な存在であることを再確認し、「法的なもの考え方」について学んだ。	36

2 展 示 事 業

期 間	展 示 名	展 示 内 容
2014年 2月18日～4月20日	「見る・読む・調べる“新聞”」展	「新聞」をテーマに、日本の新聞の歴史や新聞用語の解説、徳島の明治期の新聞などを展示し、所蔵新聞一覧や新聞のデジタル化、契約データベースなどについても広報した。

期 間	展 示 名	展 示 内 容
4月22日～6月8日	「読んでみん？みんながすすめる本ーとくしまの子どものためのブックリスト100 コメント・POP受賞作品展ー」	平成25年に徳島県教育委員会が募集した「とくしまの子どものためのブックリスト100」掲載本のコメントとPOPを、本とともに展示した。
6月10日～7月21日	〈四国遍路〉の世界 ー開創1200年を迎えてー	四国八十八カ所開創1200年を機に、遍路の起こり、空海、江戸・明治の遍路記、現代のお遍路さん、文学などのテーマでパネルや所蔵本を展示紹介した。
7月18日～7月27日	「汚水処理パネル展」	汚水処理施設の役割及び仕組みについてパネル展示し、出前講座「よごた水のゆくえ」を開催した。
7月23日～8月31日	「図書委員が選ぶ、ごちそうさん」	高等学校の図書委員に、美味しそうな料理が出てくるお薦めの本を紹介してもらい、展示した。徳島県学校図書館協議会高校部会との共同企画展示。
9月2日～11月16日	「日本の図書館の歩み 公家文庫から市民図書館へ」	解説パネルや所蔵資料を通じて、図書館が、一般に開かれるまでに長い時間を要したことを知っていただく機会とした。 第16回徳島県民文化祭共催事業。
9月23日～10月26日	「いける」山崎純世原画展	徳島市在住の山崎純世さんの作品ー絵本「いける」の原画21枚を展示。県内で活躍している作者の絵本紹介をした。
11月2日～1月12日	「高校生の作品展」	阿波高校、城ノ内高校、城西高校、富岡西高校の図書委員が作成した、本の紹介作品を展示した。
11月18日～2月15日	「図書館マル得活用術 - あなたの“知りたい”にこたえます -」	レファレンスサービスの広報のため、各種質問への回答事例や調べものに役立つ図書・データベース等を紹介した。
2月17日～4月19日	兵庫・徳島県立図書館交流企画展 「兵庫県立図書館ビブリオ堂～図書館を活用した歴史・防災学習～」	“ナマズウシ”を描いた原画20点を展示。地震の歴史・メカニズム・被害・兵庫県南部地震のパネルや大型方言講談絵本なども展示した。
2月20日～4月15日	徳島・兵庫県立図書館交流企画展 〈四国遍路〉の世界 ー開創1200年を迎えてー	兵庫県立図書館において展示。四国の「一風景」ともいえる遍路について、空海、現代のお遍路、文学などの視点でその一部を紹介した。

平成26年度 ミニ展示

一般資料コーナー

期間	テーマ
3/21～4/27	春～鳥のさえずりに誘われて
4/29～5/25	にっぽん“食”紀行
5/11～5/25	追悼・渡辺淳一
5/27～6/18	めざせ！健口・歯ッピーライフ
6/20～7/16	本で旅する日本の世界遺産
7/18～8/31	未来を見つめる科学
9/2～9/28	華麗なる宝塚～宝塚歌劇団100年～

期間	テーマ
9/30～11/3	あれもこれもイギリス
11/5～11/19	ストップ!糖尿病
11/19～12/17	火山
12/19～1/25	大阪の陣400年
2/6～3/8	女性の心とからだを考える
3/10～4/19	過去の震災に学ぶ

郷土資料コーナー

期間	テーマ
4/1～4/27	四国遍路の本 -手記とガイドブック
4/1～6/8	作ってみーへん郷土食 + 徳島の食材を使って
7/23～8/7	阿波人形浄瑠璃
8/8～10/6	活躍する徳島県人
10/8～10/19	中村修二さんとLED-ノーベル物理学賞受賞を記念して-
10/21～11/30	四国遍路の本-研究本を中心に-
12/19～12/28	森文庫ご紹介
3/10～4/5	森文庫ご紹介 Part II

しごと応援コーナー

期間	テーマ
8/12～9/28	徳島の会社
9/30～10/26	「CSR報告書」で知る企業活動
1/8～1/25	新聞「元旦号」展
2/10～3/18	読むハローワーク“お仕事小説”

ブラウジングコーナー・エントランス

期間	テーマ
9/30～11/30	旅に出よう
10/1～11/3	林芙美子
11/19～12/7	追悼・高倉健
12/5～1/18	なつかしの映画
1/8～1/22	追悼・宮尾登美子

こどもの本コーナー

期間	テーマ
4月	がっこうへいこう!
5月	おいしそうなお本
6月	あめのほん
7月	むしのほん
8月	どうぶつえんにいこう
9月	さあ、でかけよう!
10月	ふしぎの国の住人たち
11月	秋(あき)の本
12月	クリスマスの本
1月	えとの本
2月	ゆきの本
3月	のりものによって

こどもの本コーナー内ミニ展示

期間	テーマ	期間	テーマ
4/5～4/20	上橋菜穂子の本	9/7～10/13	斎藤惇夫さんの本
4/22～6/8	「とくしまの子どものためのブックリスト100」掲載本	9/23～9/28	2014年4月～8月に発行された絵本
4/22～4/25	憲法の本	9/30～11/19	トーベ・ヤンソン生誕100年
4/26～6/1	おいしそうなお本(「食べる文化の森」関連展示)	10/8～10/28	ノーベル賞の本
6/3～6/8	2014年1月～4月に発行された絵本	10/15～11/1	ハロウィンの本
6/3～6/18	はのはなし	10/28～11/19	日本の童話 秋
6/10～6/18	追悼・古田足日	11/21～12/25	クリスマスの本
6/10～6/29	サッカーの本	12/19～12/26	ご寄贈いただきました(生命保険協会徳島県協会より寄贈された絵本102冊を展示)
6/20～7/6	七夕のほん	12/19～1/21	お正月の本
7/1～7/15	司書のおすすめ本 世界遺産・日本の技術についての本を展示	1/21～1/25	節分の本
7/11～8/31	自由研究の本	2/6～3/1	季節はずれのこわい話
7/15～8/31	水・環境に関する本	2/10～2/13	2014年10月～12月に発行された絵本
7/18～8/31	戦争と平和の本	2/14～3/3	ひなまつりの本
7/29～8/31	佐々木マキの本	2/19～3/1	ねこの本
8/1～8/31	夏の本	3/3～3/8	2014年の絵本(2014年発行の新刊絵本を展示)
8/5～8/16	2014年前半の絵本(2014年1～6月の新刊絵本を展示)	3/3～	がっこう
9/2～10/8	えほんの中の図書館	3/10～	防災の本
9/3～9/21	うんどうかいの本	3/10～	追悼・松谷みよ子さん

<データで見る徳島県立図書館の現状>

年度	H22	H23	H24	H25	H26	
開館日数(日)	287	289	288	287	286	
入館者数(人)	506,861	499,127	430,709	433,917	431,537	* 累計12,359,739人、 H17から平日火～金は 19:00まで開館
登録者数(人)	5,259	5,119	3,768	3,751	3,478	* 累計147,614人 (有効登録者数)
個人貸出冊数(冊)	834,680	817,680	684,626	630,848	593,299	
協力貸出冊数(冊)	19,942	21,326	20,081	20,065	20,157	* 市町村立図書館等 への貸出(図書館未設 置は教育委員会へ)
高等学校・支援学校図書 館協力貸出冊数(冊)	3,291 (19校)	2,469 (22校)	2,611 (23校)	2,331 (23校)	2,229 (22校)	* 県立学校図書館へ の貸出(利用校数)
県外相互貸借冊数(冊) (内、貸出冊数)	1,382 (1,216)	1,505 (1,315)	1,455 (1,294)	1,453 (1,231)	1,600 (1,353)	
リクエスト件数	19,389	24,319	20,777	22,292	21,577	
レファレンス件数	10,078	10,089	11,983	14,023	13,151	
蔵書冊数(冊)	1,134,747	1,150,189	1,164,014	1,175,434	1,182,650	* 雑誌・視聴覚資料を 除く
購入図書(冊)	14,633	12,658	11,870	13,843	13,305	* 雑誌・視聴覚資料を 除く
雑誌購入種数	332	324	323	332	338	* 官報1を含む
新聞購入種数	34	37	34	39	37	
資料充実費(千円) 内、図書購入費(千円)	37,105 30,800	33,505 27,200	32,305 26,000	35,305 29,000	37,155 30,850	
人口1人あたり図書購 入費(円)	39.25	34.81	33.50	37.62	37.90	
人口1人あたり貸出数 (冊)	1.06	1.05	0.88	0.82	0.78	
人口1人あたり蔵書数 (冊)	1.45	1.47	1.50	1.54	1.55	
県人口(人)	784,725	781,348	776,177	770,831	765,247	* 県人口は、「徳島県 推計人口」当該年度4 月1日時点の推定人口

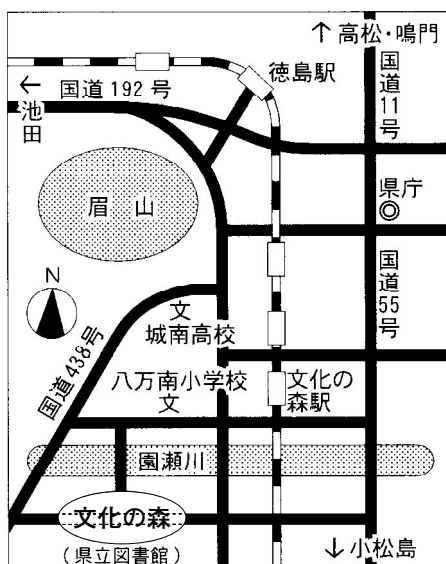
徳島県内市町村立図書館一覧

(横断検索可能館)

	図書館名	住所	電話番号 FAX番号	開館時間	休館日 (年末年始・特別整理期間以外)
1	徳島市立図書館	〒770-0834 徳島市元町1-24 アミコビル5F6F	088-654-4421 088-654-4423	9:00~21:00	第1火曜
2	鳴門市立図書館	〒772-0011 鳴門市撫養町大桑島字蛭子山49	088-685-0255 088-686-6589	9:00~19:00	火曜・第一金曜
3	生涯学習センター 小松島市立図書館	〒773-0001 小松島市小松島町字新港29-11	0885-32-1100 0885-32-7188	10:00~18:00	月曜・月末 祝日(5/5,11/3除く)
4	阿南市立 阿南図書館	〒774-0011 阿南市領家町本荘ケ内121	0884-23-2020 0884-23-6814	9:00~18:00 土・日 9:00~17:00	月曜・祝日・月末
5	那賀川図書館	〒779-1235 阿南市那賀川町苧屋308-1	0884-42-3111 0884-42-3299	10:00~18:00	月曜・祝日・月末
6	羽ノ浦図書館	〒779-1101 阿南市羽ノ浦町中庄上ナカレ16-3	0884-44-2100 0884-44-2099	10:00~18:00	月曜・祝日の翌火曜 月末(土日月の時金曜)
7	吉野川市立 山川図書館	〒779-3404 吉野川市山川町北島19-7	0883-42-5222 0883-26-4101	10:00~18:00	月曜・祝日・月末
8	川島図書館	〒779-3303 吉野川市川島町桑村883-1	0883-25-3141 0883-25-5382	10:00~18:00	水曜・祝日 月末
9	阿波市立 阿波図書館	〒771-1703 阿波市阿波町東原167-1	0883-35-5101 0883-35-5109	9:00~19:00 9:00~18:00(10~3月)	月曜・月末
10	市場図書館	〒771-1602 阿波市市場町市場字上野段212-2	0883-36-6455 0883-36-6456	9:00~19:00 9:00~18:00(10~3月)	月曜・月末
11	土成図書館	〒771-1506 阿波市土成町土成字漆畑220	088-695-5385 088-695-5515	9:00~19:00 9:00~18:00(10~3月)	月曜・月末
12	吉野笠井図書館	〒771-1402 阿波市吉野町西条字大内13	088-696-4686 088-696-5139	9:00~19:00 9:00~18:00(10~3月)	月曜・月末
13	美馬市立 脇町図書館	〒779-3610 美馬市脇町大字脇町154-1	0883-53-9666 0883-53-6190	9:00~19:00	火曜 第3木曜
14	三好市 中央図書館	〒778-0002 三好市池田町マチ2183番地	0883-72-2781 0883-76-0514	10:00~19:00	水曜
15	井川図書館	〒779-4802 三好市井川町岡野前64	0883-78-4311 0883-78-4305	9:00~19:00	火曜
16	勝浦町図書館	〒771-4305 勝浦郡勝浦町大字久国字久保田2-1	0885-42-2300 0885-42-4900	9:30~18:00	月曜・月末
17	佐那河内村立図書館	〒771-4101 名東郡佐那河内村下字中辺71-1	088-679-2817 088-679-2173	8:30~17:00	土曜・日曜・祝日
18	那賀町木頭図書館	〒771-6403 那賀郡那賀町木頭和無田字マツギ40	0884-68-2226 0884-68-2566	9:30~18:00 土 9:30~17:00	日曜・祝日(5/4除く)
19	美波町日和佐図書 ・資料館	〒779-2305 海部郡美波町奥河内字弁才天5-1	0884-77-2733 0884-77-0845	10:00~18:00 土・日 10:00~17:00	月曜・祝日
20	牟岐町立図書館	〒775-0004 海部郡牟岐町大字川長字新光寺82	0884-72-2300 0884-72-3301	10:00~18:00	月曜・第3木曜 祝日
21	海陽町立 海南図書館	〒775-0202 海部郡海陽町四方原字旭町38-1	0884-73-3591 0884-73-3551	10:00~18:00	月曜・祝日・月末
22	穴喰図書館	〒775-0501 海部郡海陽町穴喰浦字穴喰375	0884-76-1030 0884-76-1040	10:00~18:00	月曜・祝日・月末
23	松茂町立図書館	〒771-0220 板野郡松茂町広島字四番越6-1	088-699-8722 088-699-8784	10:00~18:00	月曜・月末
24	北島町立図書館	〒771-0207 板野郡北島町新喜来字南古田91	088-698-1100 088-698-1180	10:00~18:00	月曜・第3木曜 祝日(土日の時は開館)
25	藍住町立図書館	〒771-1202 板野郡藍住町奥野字猪熊175-2	088-692-0070 088-692-0170	10:00~18:00	月曜・祝日 第3木曜
26	板野町文化の館 図書館	〒779-0108 板野郡板野町犬伏字東谷13-1	088-672-5888 088-672-5999	10:00~18:00	月曜・祝日・月末
27	東みよし町立図書館	〒779-4702 三好郡東みよし町西庄字横手51	0883-82-1150 同上	10:00~18:00(4-9月) 10:00~17:30(10-3月)	月曜・火曜 祝日・月末(土・日除く)

徳島県立図書館案内図

- J R 徳島駅から／徳島市営バス・徳島バス利用（約25分）
- J R 牟岐線文化の森駅から／徒歩（約35分）



開館時間

- ・ 火曜日から金曜日まで 午前9時30分から午後7時まで
- ・ 土曜日、日曜日及び祝日（振替休日を含む。） 午前9時30分から午後5時まで

休館日

- ・ 月曜日
ただし、国民の祝日（振替休日含む）のときは、その後最も近い休日でない日
- ・ 毎月第3木曜日（国民の祝日にあたるときは、その翌日）
- ・ 年末年始
- ・ 特別整理期間（年間10日間以内、例年1月下旬から2月上旬まで）
- ・ 臨時休館日

徳島県立図書館サービス向上目標（第2期）

～県立図書館サービスの次の展開に向けて～

平成 24 年 3 月

徳島県立図書館は、平成 19 年 3 月の「徳島県立図書館サービス向上目標～地域の情報拠点を目指して～」において、社会の変化と県民の要請に応える役に立つ図書館を目指した5年間のサービス目標を設定し、業務をすすめてまいりました。

この5年間の活動を踏まえた上で、この度、新たな5年後に向けて、県立図書館が目指すべき目標の再検討を行いました。

厳しさを増した社会的経済的状況のなか、地域社会と県民の要請にこたえる図書館サービスをすすめるため、県立図書館は改めて「県の中核図書館」という役割・機能の再確認を行い、県立図書館として果たすべき役割・機能を重視したサービスを展開します。

県立図書館の役割

徳島県の図書館ネットワークの中核として、広域的かつ総合的な視点で、県民のさまざまなニーズや課題に的確に対応し、県全体の図書館サービスの向上を図ります。

県立図書館の目標

県内全域
サービス

専門性を
発揮した
サービス

地域資料の
拠点

県民の
課題解決の
支援

1 県内全域サービス

県立図書館は、市町村立図書館への支援を第一に、各種図書館を含めた図書館網の整備、県外図書館との連携の中心拠点、子どもの読書活動の推進など、徳島県内全域を視野に入れた広域サービスをすすめます。

(1) とくしまネットワーク図書館

蔵書横断検索参加館を拡充し、県民がいつでもどこでも同等の図書館サービスを利用できることを目指した「とくしまネットワーク図書館システム」による県内図書館網の整備充実を図ります。

(2) 市町村支援

- ① 市町村立図書館、図書館未設置町への協力車の毎週運行により、県内図書館間の協力貸出、相互貸借を支援します。
- ② 市町村立図書館では解決できないレファレンスへの支援をすすめます。
- ③ 図書館の紹介やイベント情報を県立図書館のホームページ上に集約し、県内図書館情報を発信します。
- ④ 「とくしまネットワーク図書館システム」を使った県内図書館職員への情報提供を充実させます。

* レファレンス＝利用者の質問に対して、情報や情報源を提供すること。

(3) 子どもの読書支援

- ① テーマに応じたリストの作成や子どもの本に関するレファレンス事例の公開など子どもの本に関するレファレンスを充実させます。
- ② 子どもの本の資料センター的機能を目指します。
- ③ 調べ学習用図書の充実や、県立学校への協力貸出、協力レファレンスなど学校図書館を支援します。

(4) 大学図書館、県外図書館との連携拠点

- ① 県の中核図書館として、館種を超えた図書館ネットワークを推進します。
- ② 国立国会図書館をはじめとする、県外図書館とのネットワークの拠点となります。

2 専門性を発揮したサービス

県立図書館は、県民が日常的に利用する市町村立図書館との役割分担を意識し、専門性を発揮したサービスを展開していきます。

(1) 専門的収集

県全体で資料を効率的に収集、活用するため、市町村立図書館では収集しない、専門性・学術性に重点をおいた資料収集を行い、将来の利用を見据えた蔵書構築を図ります。

(2) レファレンスサービスの充実

資料と検索技術に精通した司書の専門性を活かし、ニーズに迅速かつ的確に対応するレファレンスサービスの充実を図ります。

(3) 情報検索ツールの充実

時宜に応じたパスファインダーの作成など、県民が自ら資料・情報にアクセスすることをサポートします。

* パスファインダー＝特定のテーマに関する文献、情報の探し方、調べ方の案内リーフレット

(4) 情報化への対応

レファレンス協同データベースへの事例データの登録、さまざまなデータベースやホームページを横断的に調べられる「調べ物ナビ」の充実など、情報サービスの充実と利用の促進を図ります。

* レファレンス協同データベース＝国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している調べ物のためのデータベース

(5) 職員研修

県内図書館職員のスキルアップのための研修会を開催するとともに、県内図書館関係者の求めに応じ職員を講師として派遣するなど、県図書館界のレベルアップに努めます。

3 地域資料の拠点

県立図書館は、徳島に関する幅広い資料の充実に努めることはもちろん、所蔵資料のデジタル化による利便性の向上や、県の資料保存センターとしての機能充実を図ります。

(1) 地域資料収集

- ① 徳島に関する資料、県出身者に関する資料、地域行政資料などの網羅的収集に努めます。
- ② Web情報のみで公開される逐次刊行物を、プリントアウトやアクセス確保等により、収集・保存します。

(2) 地域資料のデジタル化

資料を次世代へ継承するために、当館が所蔵する古記録、新聞のデジタル化を行います。また、可能なものはWeb上で公開することで、地方史研究などのための利用環境を整え、本県のPRにも努めます。

(3) 郷土レファレンスの充実

調査相談の事例をはじめ、郷土に関するさまざまな事項や人物のデータベースをWeb上に公開し、調査研究活動を支援します。

(4) 資料保存センター機能

県内市町村立図書館からの移管資料受け入れなど、資料保存センターとしての機能を充実させます。

4 県民の課題解決の支援

県立図書館は、利用者からの求めに応じた資料提供だけでなく、県民の潜在的なニーズに応えられる能動的な取り組みを充実させます。

(1) 子育て支援

子育て中の保護者のための、子育てに役立つ図書・雑誌、子育て支援機関情報など、子育てに関する資料を集めた「子育て支援図書コーナー」の充実に努め、子育て世代を応援します。

(2) 行政支援

県の重要施策を図書館において広報する県政情報テラス事業や、議会図書室・行政機関職員からの調査相談にこたえる行政レファレンスなどの行政支援に努めます。

(3) 健康医療情報提供

県民に関心の高い糖尿病の図書など、健康や医療に関する資料・情報を提供します。また、健康相談コーナー等、関連機関と連携した事業をすすめます。

(4) 就職・仕事支援

進路検討に役立つ資料、県内企業・産業の紹介、就職関連セミナー案内など、若者の就業活動を支援する「しごと応援コーナー」の資料・情報を充実させます。

(5) テーマ展示

県民に関心の高いテーマ、タイムリーなテーマに即した資料展示による情報発信を行います。

徳島県立図書館数値目標

図書館法に基づいた図書館評価を行うため、以下の項目を数値目標として掲げ、評価を行います。

		平成25年度実績	平成27年度目標	
1	レファレンス件数	14,023件	15,000件	
	郷土	444件	500件	
	市町村	128件	160件	
2	レファレンス事例公開件数	863件	700件	
3	パスファインダー事例公開件数	4件	50件	
4	資料デジタル化件数	687件	2,500件	* Web公開件数 年報1 紀要1
5	県立図書館ホームページアクセス数	203,712件	205,000件	
6	県内横断検索参加数	85% (23館/27館)	100% (27館/27館)	
7	県内公共図書館個人貸出冊数	3,955,676冊	4,200,000冊	

* 図書館法 第7条の3

(運営の状況に関する評価等)

図書館は、該当図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

徳島県立図書館 年報 平成27年度版

発行日 平成27年6月1日

発行人 〒770-8070

徳島市八万町向寺山

文化の森総合公園

徳島県立図書館

館長 榎納 正明

TEL (088)668-3500 (代)

FAX (088)668-6904
